



Husqvarna®



436 Li, 536 LiXP

目次

はじめに.....	2	トラブルシューティング.....	31
安全性.....	4	搬送、保管、廃棄.....	32
組立.....	12	主要諸元.....	33
操作.....	13	アクセサリ.....	34
メンテナンス.....	23	EC 適合性宣言.....	36

はじめに

用途

本製品は、伐倒、枝払い、切断などの森林作業を目的としています。

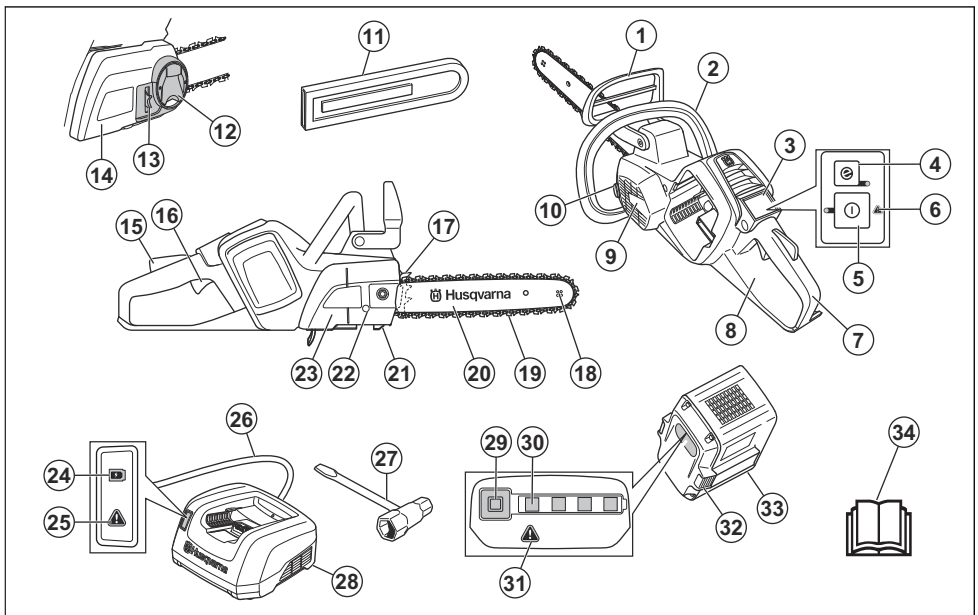
注記： 本製品の使用においては、国内の規制が課せられます。

製品の説明

Husqvarna 436 Li および 536 LiXP は、バッテリーモーターを搭載したチェーンソーモデルです。

弊社では、皆様の安全と作業の効率性を向上させるため、常に製品の改善に力を入れています。詳しくは、サービス代理店までお問い合わせください。

製品の概要



1. フロントハンドガード
2. フロントハンドル
3. キーパッド
4. SavE ボタン
5. 警告インジケータ
6. スタート/ストップボタン
7. 右手ガード付きリヤハンドル
8. 情報と警告ラベル
9. ファンハウジング
10. チェンオイルタンク
11. ガイドバーカバー
12. ノブ (436 Li)
13. チェンテンションホイール (436 Li)
14. ドライブスプロケットカバー (436 Li)

15. パワートリガーロック
16. パワートリガー
17. スパイクパンバー
18. ノーズスプロケット
19. ソーチェン
20. ガイドバー
21. チェンキャッチャー
22. チェンの張り調整ネジ
23. ドライブスプロケットカバー (536 LiXP)
24. 充電 LED
25. 警告インジケータ
26. 電源ケーブル
27. コンビレンチ
28. バッテリー充電器
29. ボタン、バッテリーの状態
30. バッテリーの状態
31. 警告インジケータ
32. バッテリーリリースボタン
33. バッテリー
34. 取扱説明書

製品に表記されるシンボルマーク



作業者や付近にいる人の重傷または死亡事故の原因となるおそれがあります。本製品は十分に注意して使用してください。



本取扱説明書をよくお読みになり、内容をしっかりと把握したうえで、本製品を操作してください。



認可された保護ヘルメット、イヤマフ、および防護メガネを着用してください。



本製品は EC 指令適合製品です。



環境に対する騒音排出は EC 指令に準拠しています。排出仕様「主要諸元 33 ページ」およびラベルを参照してください。



警告！ガイドバー先端に物体が接触すると、キックバックが発生する場合があります。これにより、ガイドバーが作業者に向かって跳ね返ります。重傷または死亡事故の原因となるおそれがあります。



チェンブレイキ、作動 (右)。チェンブレイキ、解除 (左)。



チェンオイルの補充



ソーチェンの回転方向とガイドバーの最大長。



直流。



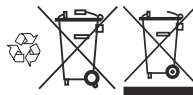
環境マーク。本製品または本製品のパッケージは、一般廃棄物ではありません。電気・電子機器のリサイクル業者にリサイクルを依頼してください。

yyyyywwxxxxxx

製造番号は銘板に記載されています。**yyyyy**は製造年、**ww**は製造された週を示しています。

注記：本製品に付いている他のシンボル／銘板は、特定の市場の認定条件を示します。

バッテリーやバッテリー充電器のシンボルマーク



電気・電子機器のリサイクル業者にリサイクルを依頼してください。(ヨーロッパにのみ適用)



安全装置付き変圧器。



バッテリー充電器は屋内でのみ使用、保管してください。



二重絶縁。

安全性の定義

各シグナルワードの重大度の定義は次のとおりです。



警告： 人身傷害。



注意： 製品の損傷。

注記： この情報は、本製品を使用しやすくするためのものです。

パワーツールの一般的な安全上の警告



警告： 警告および指示はすべて読んでください。警告や指示に従わない場合、感電、火災、あるいは深刻な傷害を招くことがあります。

注記： すべての警告や説明は、以後の参考のために保管してください。警告の「パワーツール」とは、電源で動作する（コード付）パワーツールまたはバッテリー駆動（コードレス）のパワーツールを指します。

作業エリアの安全

- 作業場所を清潔に、照明を明るく保ちます。乱雑な、あるいは暗い場所では、事故が起こりやすくなります。
- 可燃性の液体や気体、塵がある所など、爆発性雰囲気の中でパワーツールを動作させないでください。パワーツールは、塵やガスを発火させる火花を発生させます。
- パワーツールの操作中は子供やそばにいる人々と十分な距離を置いてください。注意が散漫になると、操作ミスを引き起こす可能性があります。

電気保安

- パワーツールのプラグはコンセントに適合しなければなりません。決してプラグを改造しないでください。アダプタープラグをアースの付いた（接地された）パワーツールとともに使用しないでください。改造されていないプラグおよび型の同じコンセントを使用することで、感電のリスクが低くなります。
- パイプやラジエーター、レンジ、冷蔵庫など、アースの付いた表面または接地された表面に触れないようにしてください。体が接地していたりアースされていると、感電のリスクが高くなります。
- パワーツールを雨露や湿潤な環境に曝さないでください。パワーツール内に水が入ると、感電のリスクが高まります。

- コードを本来の目的以外に使用しないでください。コードを持ってパワーツールを移動したり、引っ張ったり、電源を抜いたりすることのないようにしてください。熱やオイル、とがった先端や可動部品にコードを近づけないでください。コードが破損したり絡まると、感電のリスクが高くなります。
- 屋外でパワーツールを操作する場合は、屋外での使用に適した延長コードを使用してください。屋外での使用に適したコードを使用することで、感電の危険性は少なくなります。
- 湿気のある場所でパワーツールを操作せざるを得ない場合は、電源を保護するために漏電遮断器（GFCI）を使用してください。GFCIは感電の危険を低減します。

個人の安全

- パワーツールを操作するときは、十分に気をつけて慎重に行動し、常識に従って行動してください。疲れているときや、医薬品およびアルコールの影響が残っている状態でパワーツールを使用しないでください。パワーツールの操作中は、一瞬の不注意が重大な傷害につながる可能性があります。
- 身体保護具を使用してください。常に眼の保護具を着用してください。防塵マスクや滑り止め用の安全靴、ヘルメット、イヤマフを使用すると、負傷の危険性が少なくなります。
- 予期せぬ始動を防止します。電源およびバッテリーパックを接続したり、ツールを拾ったり運ぶ前に、必ずスイッチがオフの位置にあることを確認してください。スイッチに指を置いてパワーツールを運んだり、スイッチが入った状態でパワーツールに圧力をかけると、事故につながります。
- パワーツールをオンにする前に、調整キーとレンチを外してください。パワーツールの回転部品にレンチやキーが取り付けられたままになっていると、怪我の原因となります。
- 無理な体勢で作業しないでください。常に、安定した足場とバランスを保つようにしてください。こうすることで、予期しない事態でもパワーツールを安定した状態に保つことができます。
- 適切な服装を心がけてください。ゆったりした衣服や装身具を身につけないでください。可動部品に髪の毛や衣服、手袋を近づけないでください。ゆったりした衣服や装身具、長髪は可動部品に絡まる恐れがあります。
- 集塵装置の接続用装備が提供されている場合、それらが接続されて正しく使用されているか確認してください。集塵装置を使用すると、塵に関連する危険を回避できます。
- パワーツールの使用で発生する実際の振動は、公称合成振動値と異なり、ツールの使用方法に依存します。作業者は、自分自身を保護する目的で、実際の使用状況（ツールの電源をオフにする回数および、トリガー動作やアイドル運転の回数など、運転サイクルのあらゆる部分を考慮）における振動暴露予測を基本にした安全対策を確認する必要があります。

パワーツールの使用と手入れ

- ・ パワーツールを無理に使用しないでください。用途に合った正しいパワーツールを使用してください。正しいパワーツールを使用した方が、意図された速度でより良く安全に作業を行えます。
- ・ スイッチが機能しない場合はパワーツールを使用しないでください。スイッチで制御できないパワーツールは危険なため、修理する必要があります。
- ・ 調整やアクセサリの変更を行ったり、パワーツールを保管する前に、電源プラグを外し、パワーツールからバッテリーパックを取り外してください。予防的な安全対策を行うことで、誤ってパワーツールを始動させる危険性が少なくなります。
- ・ 使用していないパワーツールは子供の手の届かない所に保管して、パワーツールやこの取扱説明書に詳しくない人間がパワーツールを操作しないように注意してください。不慣れなユーザーがパワーツールを扱うと危険です。
- ・ パワーツールのメンテナンスを行ってください。可動部品の調整やバインド、部品の破損やパワーツールの動作に影響する他の状態がないかどうか確認します。破損している場合は、使用する前にパワーツールを修理してください。ほとんどの事故は、正しいメンテナンスを受けていないパワーツールが原因です。
- ・ 切削工具は研いだ状態で清潔に保ちます。正しくメンテナンスされて研いである切削工具は、バインドすることも少なく、制御が簡単です。
- ・ パワーツール、アクセサリ、工具ビットなどは、これらの取扱説明書に従って使用し、作業条件および行う作業を考慮してください。意図されていない作業でパワーツールを使用すると、危険な状況を招くことがあります。

バッテリーツールの使用と手入れ

- ・ メーカー指定の充電器のみを使って充電してください。1種類のバッテリーパックのみに適合する充電器は、それ以外のバッテリーパックの充電で使用した場合、火災を起こす恐れがあります。
- ・ 仕様で指定されたバッテリーパックのみでパワーツールを使用してください。それ以外のバッテリーパックを使用すると、怪我や火災を招く危険があります。
- ・ バッテリーパックを使用しないときは、ペーパーリップ、コイン、キー、爪きり、ネジなどの金物、あるいは端子間を短絡する恐れがある他の小さな金物から遠ざけるようにしてください。バッテリー端子の短絡は、火傷や火災を引き起こす恐れがあります。
- ・ 劣悪な環境では、液体がバッテリーから漏れ出すことがあります。そのような場合、液体には触れないようご注意ください。もし万が一誤って触れてしまった場合、水で洗い流してください。液体が目に入ってしまった場合、医師の診察を受けてください。バッテリーから漏れ出した液体は、炎症や火傷を引き起こすことがあります。

サービス

- ・ パワーツールのサービスは、資格のある修理担当者と同じ交換品を使って行うようにしてください。こうすることで、パワーツールの安全性を維持できます。

チェンソーに関する安全上の警告

- ・ チェンソーの操作中は、体のあらゆる部分をソーチェンから遠ざけるようにしてください。チェンソーを始動する前に、ソーチェンが何にも接触していないことを確認してください。チェンソーの操作中は、一瞬の不注意が、ソーチェンによる衣服や身体の巻き込み事故につながる可能性があります。
- ・ チェンソーを持つときは、必ず右手でリアハンドルを、左手でフロントハンドルを握ってください。逆の手でチェンソーを持つと怪我をする危険性が高まるため、この行為は絶対におやめください。
- ・ ソーチェンは隠れた配線や自身のコードに接触する可能性があるため、絶縁グリップ面だけを掴んでパワーツールを持ってください。ソーチェンが「通電」している配線に接触することで、パワーツールの露出している金属部分が「通電」状態となることがあり、使用者が感電する危険性があります。
- ・ 保護メガネおよびイヤマフを着装してください。さらに、頭、手、脚と足用の身体保護具の着用を推奨します。適切な防護服を着用することで、飛び散る破片による怪我やソーチェンの接触事故を軽減できます。
- ・ 木に登ってチェンソーを使用しないでください。木に登ってチェンソーを操作すると、怪我をする可能性があります。
- ・ 常に、安定した足場を確保し、しっかりと水平に固定された安全な足場によってチェンソーを操作するようにしてください。ハシゴのように滑りやすく、不安定な足場では、バランスを保ち、チェンソーを制御するのが難しくなります。
- ・ 張力をかけながら枝を払うときは、スプリングバックに注意してください。木材繊維の張力が解放されたとき、板ばねのようになっている枝で使用者が直撃を受けたり、チェンソーが制御不能になって飛ばされたりすることがあります。
- ・ 低木や若木を伐採する際は、細心の注意を払ってください。細長い形状のものはソーチェンに絡まって、使用者を鞭打つようにぶつかったり、使用者を引っ張ってバランスを崩したりすることがあります。
- ・ チェンソーのスイッチを切って、体から遠ざけるようにして、フロントハンドルを持ちながら運んでください。チェンソーの輸送や保管を行う際は、ガイドカバーを常に取り付けてください。チェンソーを正しく取り扱うことで、動いているソーチェンとの不用意な接触の危険性を減らすことができます。
- ・ 注油、チェンの張り、およびアクセサリの交換に関する指示に従ってください。チェンの不適切な張り具合や注油によって、チェンが破損したり、キックバックの危険性が増加する場合があります。
- ・ ハンドル部は乾燥させて、オイルや油が付着しないようにきれいな状態を保ってください。油類が付着

したハンドルは滑りやすく、コントロールし難くなります。

- **樹木や材木のみを切断してください。意図されていない用途にチェーンソーを使用しないでください。たとえば、プラスチック、石材、その他木材以外の建材の切断には、チェーンソーを使用しないでください。**意図されていない用途にチェーンソーを使用することで、危険な状況になる場合があります。
- 最初のうちは、木を鋸断台や架台に載せて切ることを推奨します。

キックバックの原因と使用者による防止方法

キックバックは、ガイドバー先端に何かが接触したとき、あるいは、樹木が近づきすぎて、切断中のソーチェーンに巻き込まれたときなどに発生します。先端が障害物に触れると、反動の力が突然発生し、ガイドバーが上方向または使用者に向かって勢い良く戻ってきます。ガイドバーの上部に沿ってソーチェーンに何かが挟まると、ガイドバーが使用者へ向かって急激に押し戻されます。これらの反動による動作はいずれも、チェーンソーの制御を不可能にして、深刻な人的傷害を招くことがあります。チェーンソーに搭載されている安全装置を頼り過ぎないようにしてください。チェーンソーの使用にあたっては、事故や怪我なく切断作業を行うために、いくつかの段階を踏む必要があります。キックバックは、ツールの誤った使用あるいは不適正な操作手順や操作条件などの結果生じるものであり、以下に示す正しい予防措置を講じることで避けることが可能です。

- **親指と他の指で取り囲むようにしっかりとチェーンソーのハンドルを握ります。キックバック力に耐えられるように、両手でチェーンソーを持ちながら、体と腕の位置を決めてください。**適切な予防措置を講じれば、使用者がキックバックを制御できます。チェーンソーを離さないでください。
- **無理な体勢で作業したり、肩の高さよりも上の位置の物体を切断したりしないでください。**こうすることで、先端が偶発的に何かに接触するのを防ぐことができ、不測の事態でもチェーンソーを適切に制御することが可能になります。
- **交換用ガイドバーとチェーンは、ハスクバーナの指定品のみを使用してください。**不適正なガイドバーやチェーンに交換した場合、チェーンの破損やキックバックが起こることがあります。
- **ソーチェーンの目立てやメンテナンスについては、本書の記載にしたがってください。**デブスゲージの高さの減少は、キックバックの増加につながります。

以下の指示は、大切に保管してください。

一般的な安全注意事項



警告：本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 本製品は、慎重かつ適切に使用しないと、危険な道具となります。本製品により、操作者や付近にいる人が重傷を負う、または死亡するおそれがあります。本取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解することが非常に重要です。

- メーカーの承認なしに本製品を改造しないでください。他者が改造した製品を使用しないでください。また、必ず純正のアクセサリを使用してください。認定されていない改造は、作業者や付近にいる人の重傷または死亡事故の原因となるおそれがあります。
- チェンオイルの蒸気や切りくずを長期間吸引していると、健康を害する場合があります。
- 本製品では、運転中に電磁場が発生します。この電磁場は、ある条件下でアクティブ、またはパッシブな医療用インプラントに影響を及ぼすことがあります。深刻な重傷や死亡の危険を避けるため、医療用インプラントを使用している方は、本製品を使用する前に主治医および医療用インプラントの製造元に相談することをお勧めします。

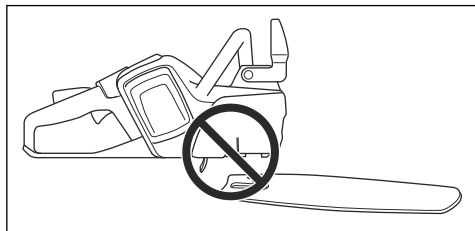
操作のための安全注意事項



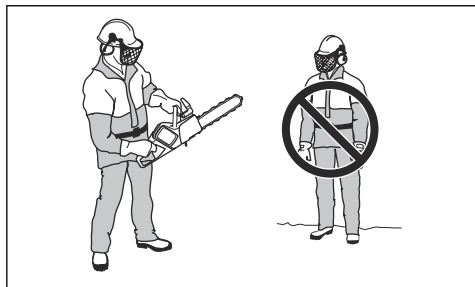
警告：本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 本取扱説明書の情報は、専門家の知識や経験に相当するものではありません。現在の状況が安全ではないと思われる場合は、本製品を停止してください。サービス代理店またはチェーンソーの専門家に相談してください。確信を持ってない作業は行わないでください！
- 本製品の操作について質問がある場合は、サービス代理店または Husqvarna にご相談ください。本製品を効率的に、安全に操作する方法をご説明します。可能であれば、チェーンソー操作のトレーニングクラスにご参加ください。サービス代理店、林業学校、図書館などで、トレーニング資料や講習などについての情報が提供されています。
- 本製品を使用する前に、キックバックの影響と、防止方法について理解する必要があります。詳しくは、「キックバックとは 16 ページ」および「キックバックに関するよくある質問 17 ページ」を参照してください。
- 欠陥のある製品、バッテリー、またはバッテリー充電器は絶対に使用しないでください。
- 回転しているソーチェーンに触れないでください。重傷または死亡事故の原因となるおそれがあります。
- 疲労時や飲酒後、視野・判断力・動作に悪影響を及ぼすような医薬品を服用したときは、本製品を使用しないでください。
- 濃霧、大雨、強風、厳寒などの悪天候下で本製品を使用しないでください。悪天候下での作業は、疲れやすく、また、地面の凍結や、予期せぬ方向に木が倒れるなどして危険です。
- ガイドバー、ソーチェーン、およびすべてのカバーが正しく装着されていることを確認してから本製品を始動してください。正しく装着されていない状態で始動すると、ドライブスプロケットが外れて、重傷

を負うおそれがあります。詳しくは、「組立 12 ページ」を参照してください。



- 周囲の状況を確認してください。本製品を操作する際、人や動物が触れたり干渉したりする危険がないことを確認してください。

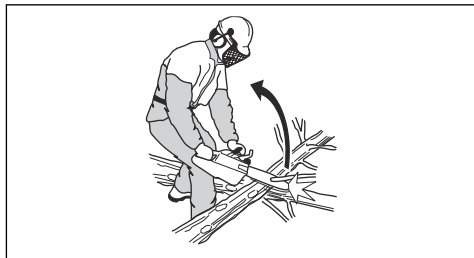


- 本製品を子供に使用させたり、子供のそばで使用したりしないでください。本製品は簡単に始動できます。十分に監視していないと、子供が動かしてしまう可能性があります。これにより、重傷を負う危険があります。
- 監視できない場所に本製品を置く場合や、長時間使用しない場合は、バッテリーを取り外してください。
- 本製品を完全に制御するために、安定した場所で作業してください。ハシゴや木の上で本製品を使用しないでください。不安定な場所で本製品を使用しないでください。

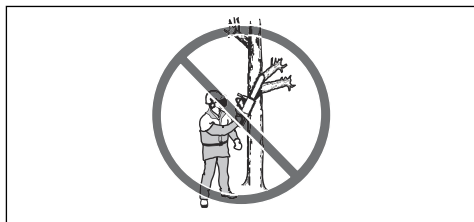


- 慎重に扱わないと、キックバックの危険が高まります。ガイドバーのキックバックゾーンが誤って枝、

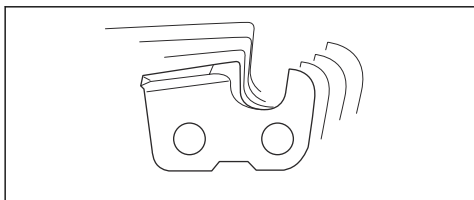
木、またはその他の物体に触れると、キックバックが発生する場合があります。



- 本製品は片手で操作しないでください。片手では本製品のコントロールが十分にできません。
- 本製品は肩より上で使用しないでください。また、ガイドバー先端で切断しようとししないでください。



- 事故が起こったときに助けを求めることができない場所で使用しないでください。
- 本製品を移動する場合は、本製品を停止させてチェーンブレイキをかけてください。ガイドバーとソーチェーンを後ろに向けて製品を持ちます。搬送前、または少しでも移動する前には、ガイドバーに搬送用ガードを取り付けてください。
- 本製品を地面に置くときは、チェーンブレイキをかけて、常に本製品が視野に入るようにしてください。本製品から離れる際は、たとえ短時間でも、チェーンソーを停止してバッテリーを外すようにしてください。
- 駆動装置に木くずが詰まる危険があります。これにより、ソーチェーンが動かなくなることがあります。本製品をクリーニングするときは、必ず停止させてバッテリーを外してください。
- 身体の動きが自由に取れることを確認してください。木の根、岩、枝、溝などの障害物がないか周りの状況や地形を調べてください。斜面で作業するときは、注意してください。
- 適合しない、または適切に目立てされていないカッティング装置を使用して切断すると、振動レベルが上がります。硬木（広葉樹など）を切断するとき、軟木（針葉樹など）を切断するより振動が大きくなります。



- 循環器系に障害のある人が振動を長期間受け続けると、循環器障害や神経障害を起こすことがあります。過度の振動を受け続けたために症状が現れた場合は、医師の診断を受けてください。症状にはしびれ、感覚麻痺、ピリピリ感、刺痛、痛み、脱力感、皮膚の色や状態の変化などがあります。通常、これらの症状は、低温時に指、手、または手首で発生します。
- 自分の能力で対応できない状況での作業は避けてください。
- 本製品の使用時に起こり得る状況をすべて予測し、対応することは不可能です。常に常識に基づいて注意して使用してください。



使用者の身体保護具

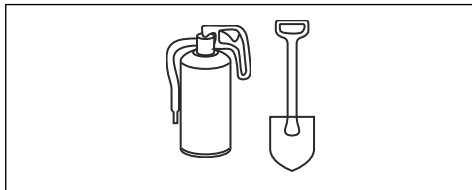


警告：本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。



- チェンソー事故の大半は、ソーチェンが使用者に当たった際に発生します。作業中は、認可された身体保護具を着用する必要があります。身体保護具で怪我を完全に防止できるわけではありませんが、万が一事故が起こった場合、負傷の度合いを軽減することができます。使用が推奨される装具については、サービス代理店にお問い合わせください。
- 腕に適切な保護具を着用してください。ぴったりとした、ただし動きを制限しない服を着用する必要があります。定期的に身体保護具の状態を確認してください。
- 認可された保護ヘルメットを使用してください。

- 認可されたイヤマフを使用してください。長時間騒音にさらされると、回復不能な聴覚障害になる可能性があります。
- 常に保護メガネあるいはバイザーを着用し、飛んでくる物体による損傷を防いでください。本製品は、木くず（小さな木片）などの物体を強い力で飛ばします。これにより重傷を負うことがあります。特に目の怪我の原因になることがあります。
- チェンソー用保護グローブを着用してください。
- チェンソー用保護ズボンを着用してください。
- つま先にスチールキャップの入った、滑りにくい靴底のチェンソー用保護ブーツを着用してください。
- 常に救急箱を手元に準備しておいてください。
- 本製品から火花が生じることがあります。森林火災を防止するため、消火器とシャベルを用意してください。



本製品の安全装置



警告：本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 安全装置が損傷している製品は使用しないでください。安全装置は、定期的に検査、メンテナンスする必要があります。手順については、「製品の安全装置のメンテナンスと点検 23 ページ」を参照してください。安全装置の検査で問題が見つかった場合は、サービス代理店に修理を依頼してください。



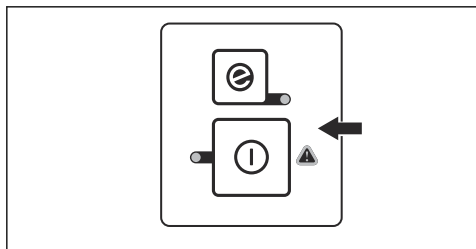
警告：適切にメンテナンスを実施しないと、製品の寿命が短くなり、事故の危険性が高まります。すべての保守、修理作業は、専門家が実施する必要があります。詳細については、サービス代理店までお問い合わせください。

注記：お使いの製品の安全装置の位置については、「製品の概要 2 ページ」を参照してください。

キーパッド

チェンブレイキが作動するか、過負荷の危険がある場合、警告インジケータが点滅します。過負荷保護が作動すると、製品は一時的に停止し、温度が戻るまで使用できません。

くなります。インジケータが点灯している場合は、サービス代理店にお問い合わせください。

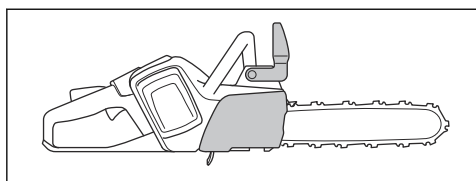


自動停止機能

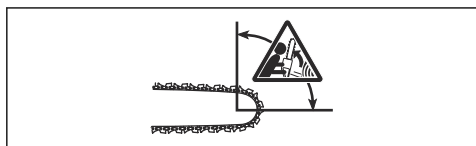
本製品には自動停止機能が搭載されており、1分以上使用しないと停止します。

チェンブレイキとフロントハンドガード

キックバックが発生した場合、製品のチェンブレイキによりソーチェーンが停止します。チェンブレイキは事故発生の危険性を軽減しますが、何よりも大切なのは慎重な取り扱いです。

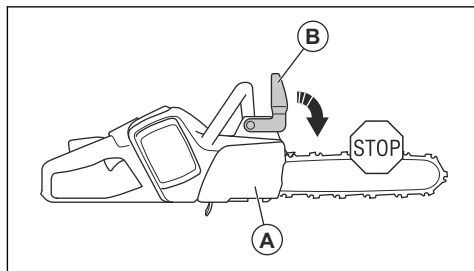


警告：キックバック発生の危険がある状況にならないようにしてください。本製品は慎重に使用して、ガイドバーのキックバックゾーンに何も触れないようにしてください。



チェンブレイキ (A) は、左手を使用して手動で、またはイナーシャ機構で自動的に作動させることができます。フロントハンドガード (B) を前方に動かして、チ

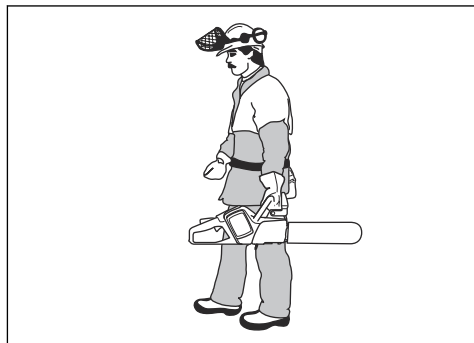
ェンブレイキを手動ではめます。この動きにバネを使用した機構が反応し、ドライブスプロケットが停止します。



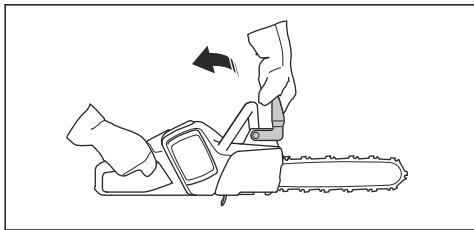
ェンブレイキのかかり方は、キックバックの力に応じて異なります。キックバックゾーンが物に触れたときの本製品の位置によっても変わります。キックバックゾーンが身体から最も離れた位置にあるときに非常に強いキックバックが起こった場合、イナーシャ機構によりチェンブレイキがかかります。キックバックの力が弱く、キックバックゾーンが身体に近い場合は、左手で手動でチェンブレイキをかけます。



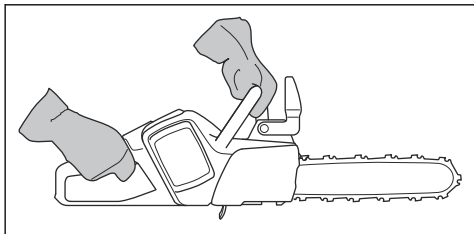
本製品を始動するときや、短距離を移動するときは、サイドブレイキのようにチェンブレイキを使用します。これにより、自分と付近にいる人がソーチェーンに当たる危険が低減します。



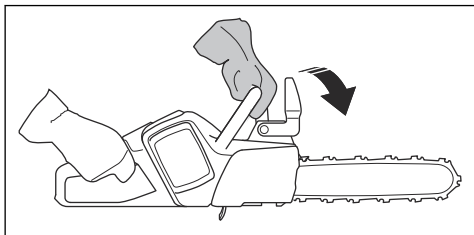
フロントハンドガードを後方に動かして、チェンブレイキを解除します。



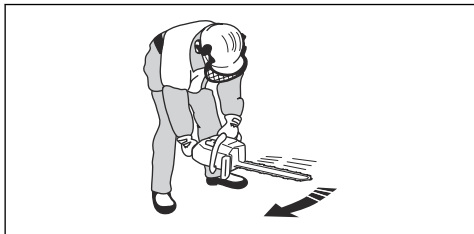
キックバックは突然、強い力で起こることがあります。キックバックのほとんどは弱いもので、いつもチェンブレイキが自動的にかかるとは限りません。本製品の使用中にキックバックが発生した場合は、ハンドルを強く握って、放さないでください。



フロントハンドガードは、手がフロントハンドルから離れた際にソーチェンが当たるリスクを低減します。



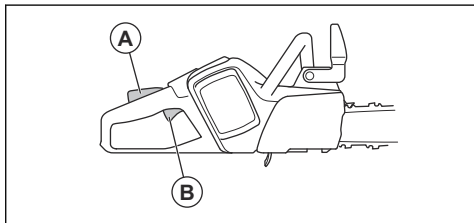
伐倒ポジションでは、手動でチェンブレイキをかけることはできません。このポジションでは、チェンブレイキはイナーシャ機構のみかかります。



パワートリガーロック

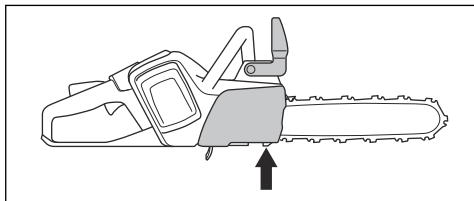
パワートリガーロックは、パワートリガーの操作ミスを防ぐためのものです。ハンドルを持って、パワートリガ

ーロック (A) を押すと、パワートリガー (B) が解除されます。ハンドルから手を放すと、パワートリガーとパワートリガーロックは最初の位置に戻ります。



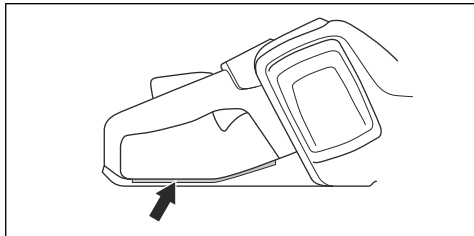
チェンキャッチャー

チェンキャッチャーが破損したり、緩みがあったりすると、チェンキャッチャーがソーチェンに絡まります。適切にチェンを張れば、危険を減少させることができます。ガイドバーとソーチェンを適切にメンテナンスすることで、危険が減少します。詳しくは、「[組立 12 ページ](#)」および「[メンテナンス 23 ページ](#)」を参照してください。



右手ガード

右手ガードは、ソーチェンが破損したり緩んだりした場合、手のガードとして機能します。また、製品を使用する際、枝や小枝が邪魔にならないようにします。



バッテリーの安全



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示を読んでください。

- お使いの製品に推奨されている Husqvarna BLi バッテリーのみを使用してください。バッテリーはソフトウェアで暗号化されています。

- 再充電可能な **Husqvarna BLi** バッテリーのみを、対応する **Husqvarna** 製品の電源として使用してください。負傷を防ぐため、このバッテリーを他の装置の電源として使用しないでください。
- 感電のおそれがあります。バッテリーの端子を鍵、ネジ、その他の金属に接触させないでください。これはバッテリーの短絡の原因になる場合があります。
- 再充電できないバッテリーは使用しないでください。
- バッテリーのエアスロットに物が入らないようにしてください。
- バッテリーは日光や熱、焚き火から遠ざけてください。バッテリーが爆発して、火傷や化学外傷の原因になる場合があります。
- バッテリーは雨から遠ざけて、濡れない状態に維持してください。
- バッテリーは電子レンジや高圧から保護してください。
- バッテリーを分解したり壊したりしないでください。
- バッテリー液が皮膚に触れないようにしてください。バッテリー液は、皮膚の負傷、荒れ、火傷の原因になります。目にバッテリー液が入った場合、目をこすらずに水で 15 分以上洗浄してください。バッテリー液が皮膚に触れた場合は、大量の水と石けんで皮膚を洗う必要があります。医師にご相談ください。
- バッテリーは -10~40 °C (14~104 °F) の温度で使用してください。
- バッテリーまたはバッテリー充電器を水分を含んだ布で拭いたり、水で洗浄したりしないでください。メンテナンス 23 ページを参照してください。
- 不具合や損傷のあるバッテリーは使用しないでください。
- バッテリーはくぎ、ネジ、または宝飾品などの金属から離して保管してください。
- バッテリーは子供の手の届かない場所に保管してください。

バッテリー充電器の安全性



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 安全注意事項を守らないと、感電や短絡の危険があります。
- 認可された、破損のない主電源ソケットを、接地された状態で使用してください。
- 製品の付属品以外のバッテリー充電器は使用しないでください。**Husqvarna** 交換用バッテリー **BLi** を充電するときは、**Husqvarna QC** 充電器のみを使用してください。
- バッテリー充電器を分解しないでください。
- 故障または破損したバッテリー充電器は使用しないでください。
- 電源コードを持ってバッテリー充電器を持ち上げないでください。主電源ソケットからバッテリー充電器を取り外す際は、プラグを引っ張ってください。電源コードを引っ張らないでください。
- すべてのケーブルと延長コードが、水や油、または尖った物に接触しないようにしてください。ドア、フェンスなどの間に、ケーブルが挟まっていないことを確認してください。
- 可燃性の物質や、腐食の原因となる物質の近くでは、バッテリー充電器を使用しないでください。バッテリー充電器の上に覆うものが何もないことを確認してください。煙や火災が発生した場合、バッテリー充電器の電源プラグをコンセントから引き抜いてください。
- バッテリーは、通気がよく直射日光が当たらない屋内でのみ充電してください。屋外でバッテリーを充電しないでください。濡れた状態でバッテリーを充電しないでください。
- バッテリー充電器は、温度が 5~40 °C (41~104 °F) の場所だけで使用してください。充電器は、通気がよく、埃がない、乾燥した環境で使用してください。
- バッテリー充電器の冷却スロットに物が入らないようにしてください。
- バッテリー充電器が短絡するため、充電器の端子を金属物体へ接触させないでください。
- 認可された、破損していない壁コンセントを使用してください。
- メンテナンス、その他の点検、または製品の組み立てを行う前に、バッテリーを取り外してください。
- 作業者は本取扱説明書に記載されているメンテナンスとサービスだけを実施してください。メンテナンスおよびさまざまなサービスについては、サービス代理店にお問い合わせください。
- バッテリーまたはバッテリー充電器を水分を含んだ布で拭いたり、水で洗浄したりしないでください。強い洗剤を使用すると、プラスチックの部品が損傷する場合があります。
- メンテナンスを実施しないと、製品の寿命が短くなり、事故の危険性が増します。
- 特に本製品の安全装置については、すべての整備と修理の作業に特殊な訓練が必要です。メンテナンスを実施した後、この取扱説明書の点検項目の中に不合格の項目があった場合は、サービス代理店にお問い合わせください。当社は、お客様の製品のために、プロフェッショナルな修理と整備を提供することを保証します。
- 純正の交換部品のみを使用してください。

メンテナンスのための安全注意事項



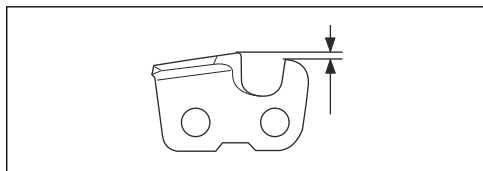
警告： 本製品のメンテナンスを行う前に、以下の警告指示を読んでください。

カッティング装置の安全注意事項

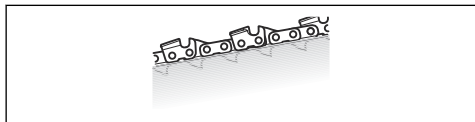


警告：本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

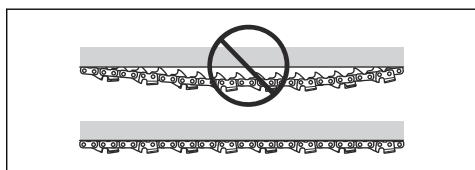
- ガイドバーとソーチェンを正しく組み合わせて使用することで、キックバックの危険を減らすことができます。弊社の推奨するガイドバーとソーチェンの組み合わせのみを使用し、適切なヤスリを使用してください。詳しくは、「主要諸元 33 ページ」を参照してください。



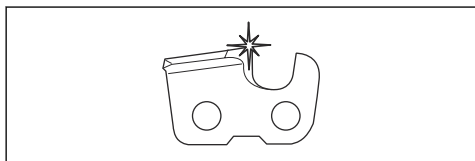
- ソーチェンに適切な張りがあることを確認してください。ソーチェンがガイドバーにしっかりとハマっていないと、ソーチェンが緩む危険性が高まります。これにより、ガイドバー、ソーチェン、およびドライブスプロケットの摩耗が早まります。



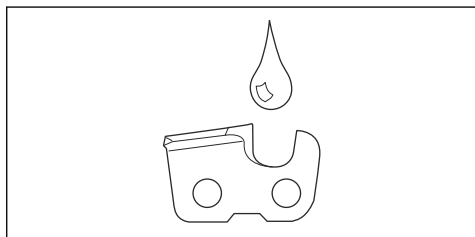
- ソーチェンを扱うときは、保護グローブを着用してください。動いていないソーチェンでも、触れると怪我をする場合があります。
- 刃の目立てを正しく行ってください。指示に従い、指定の目立てゲージをご使用ください。損傷したソーチェンまたは目立てが不適切なソーチェンを使用すると、事故の危険性が高まります。



- カッティング装置を定期的にメンテナンスして、適切に注油してください。ソーチェンが正しく注油されていないと、ガイドバー、ソーチェン、およびドライブスプロケットの摩耗が早まります。



- デプスゲージの設定を正しく守ってください。指示に従い、推奨されているデプスゲージの高さに従ってください。デプスが大きすぎると、キックバックの危険性が高くなります。



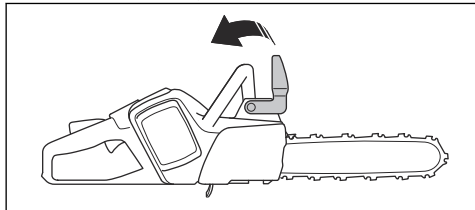
組立

ガイドバーとソーチェンを組み立てるには (436 Li)

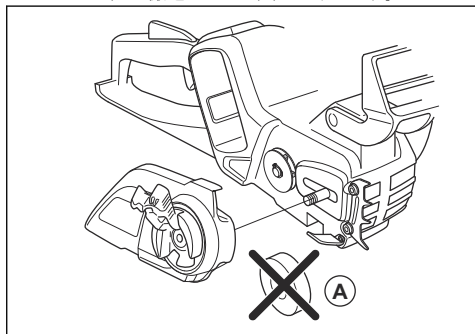


警告：本製品の組み立て、またはメンテナンスを実行する前に必ずバッテリーを外してください。

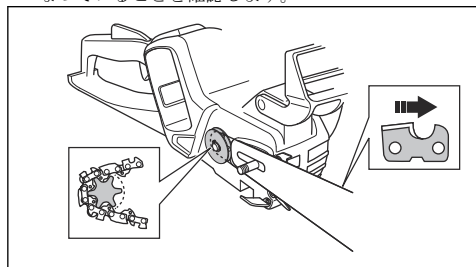
- チェンブレーキを解除します。



- ノブを緩めてドライブスプロケットカバー（チェンブレーキ）と搬送リング（A）を外します。



3. バーボルトの上にガイドバーを取り付けます。ガイドバーを最後部の位置まで移動します。ソーチェンをドライブスプロケットの上まで持ち上げて、ガイドバーの溝にはめます。ガイドバーの上端から装着作業を始めてください。
4. カッターリンクの刃がガイドバーの上側で前向きになっていることを確認します。



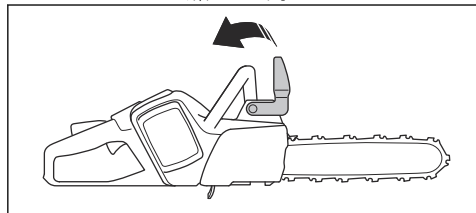
5. カッターリンクの刃がガイドバーの上側で前向きになっていることを確認します。
6. ドライブスプロケットカバーを組み立てて、チェーン調整ピンをガイドバーの穴に通します。
7. ソーチェンのドライブリンクがドライブスプロケットに正しく取り付けられていることを確認します。
8. ソーチェンが正しくガイドバーの溝にはまっていることを確認します。
9. ソーチェンを張ります。詳しくは、「ソーチェンを張るには28ページ」を参照してください。

ガイドバーとソーチェンを組み立てるには (536 LiXP)

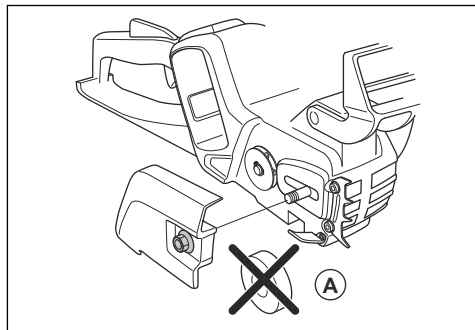


警告：本製品の組み立て、またはメンテナンスを実行する前に必ずバッテリーを外してください。

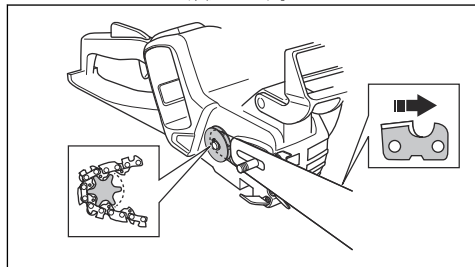
1. チェンブレイキを解除します。



2. バーナットを緩めてドライブスプロケットカバーと搬送リング (A) を外します。



3. バーボルトの上にガイドバーを取り付けます。ガイドバーを最後部の位置まで移動します。ソーチェンをドライブスプロケットの上まで持ち上げて、ガイドバーの溝にはめます。ガイドバーの上端から装着作業を始めてください。
4. カッターリンクの刃がガイドバーの上側で前向きになっていることを確認します。



5. カッターリンクの刃がガイドバーの上側で前向きになっていることを確認します。
6. ドライブスプロケットカバーを組み立てて、チェーン調整ピンをガイドバーの穴に通します。
7. ソーチェンのドライブリンクがドライブスプロケットに正しく取り付けられていることを確認します。
8. ソーチェンが正しくガイドバーの溝にはまっていることを確認します。
9. バーナットを指できつく締めます。
10. ソーチェンを張ります。詳しくは、「ソーチェンを張るには28ページ」を参照してください。

スパイクバンパーを組み立てるには

スパイクバンパーを組み立てる場合は、サービス代理店にお問い合わせください。

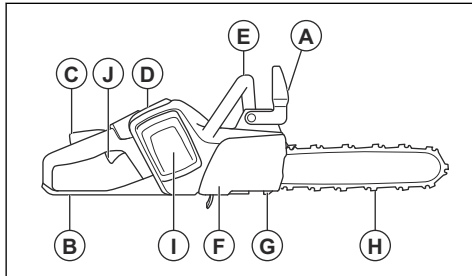
操作

製品使用前の機能チェック

1. チェンブレイキを点検し、正常に作動するか、損傷がないか確認します。

2. 後部右手ガードを点検し、損傷がないか確認します。
3. パワートリガーロックを点検し、正常に作動するか、損傷がないか確認します。

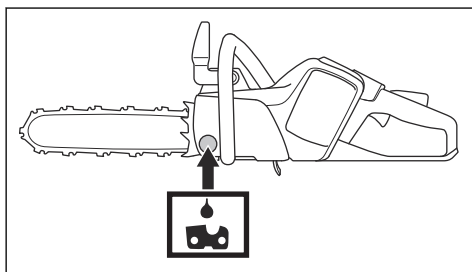
4. キーパッドが正しく動作するか確認します。
5. ハンドルにオイルが付着していないか確認します。
6. すべての部品が正しく取り付けられており、損傷や不足がないことを確認します。
7. チェンキッチャーを点検し、適切に取り付けられていることを確認します。
8. チェンの張り具合を点検します。
9. バッテリーが充電されており、製品に正しく取り付けられていることを確認します。
10. パワートリガーを放すとソーチェーンが停止することを確認します。



チェンオイル

Husqvarna のすべてのチェンソーには、チェンの自動注油システムがあります。またモデルによっては、オイルの流量調節が可能となっています。

チェンオイルを選ぶときは、以下の点を考慮してください。



- オイルタンクは、約 3 回のバッテリー充電までもちます。これは、適切なチェンオイルを使用している場合に限りです。チェンオイルの注油が少なすぎると、長期間もちません。
- チェンオイルは暑い夏でも寒い冬でも、流動性を維持し、ソーチェーン表面に滑らかな皮膜を形成しなければなりません。
- 気温に適した正しいグレード（適切な粘度範囲）のオイルを使用してください。気温が 0°C 以下になると、粘性が高くなりすぎるオイルもあります。オイルの粘性が高すぎるとオイルポンプに負担がかかり、ポンプ部品の損傷の原因となります。

- 推奨されているカッティング装置を使用してください。ガイドバーが長すぎるとチェンオイルの消費量が増えます。
- チェンオイル選択の際は、お近くのサービス代理店にご相談ください。



警告： 廃油は使用しないでください。廃油は、作業者や環境にとって有害です。また、廃油はオイルポンプ、ガイドバー、ソーチェーンを損傷させるおそれがあります。



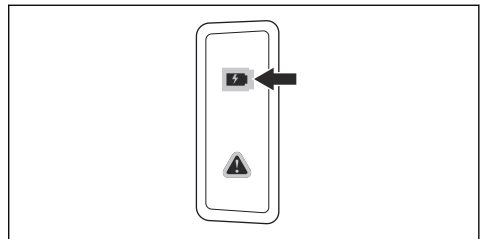
警告： カッティング装置の潤滑が十分でないと、ソーチェーンが損傷の原因になります。ソーチェーンが損傷すると、作業者の重傷または死亡事故の原因となるおそれがあります。



注意： 植物油をベースにしたチェンオイルを使用する場合、長期間保管する前にガイドバーとソーチェーンの溝を清掃してください。清掃しないと、ソーチェーンが酸化する可能性があり、その結果、ソーチェーンが固まって、ノーズスプロケットが詰まることがあります。

バッテリー充電器を接続するには

1. 定格プレートで指定されている電圧と周波数を持つ電源にバッテリー充電器を接続してください。
2. 接地された壁コンセントにプラグを差し込みます。バッテリー充電器の LED が一度緑色で点滅します。



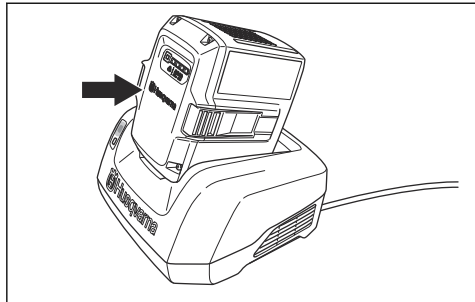
注記： バッテリーの温度が 50 °C (122 °F) を超えると、バッテリーは充電されません。温度が 50 °C (122 °F) を超えると、バッテリー充電器がバッテリーを冷却します。

バッテリーとバッテリー充電器を接続するには

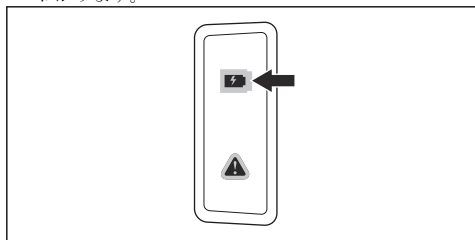
注記： 初めてバッテリーを使用する場合は、バッテリーを充電してください。新品のバッテリーは 30 % しか充電されていません。

1. バッテリーが濡れていないことを確認してください。

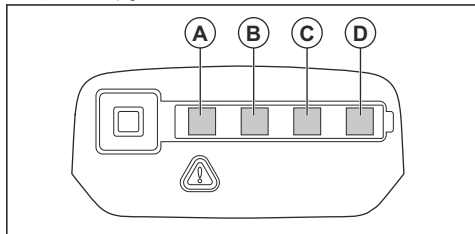
2. バッテリーをバッテリー充電器に取り付けます。



3. バッテリー充電器の緑の充電ライトが点灯していることを確認してください。これにより、バッテリーがバッテリー充電器に正しく接続されていることがわかります。



4. バッテリーの LED がすべて点灯したら、フル充電されています。



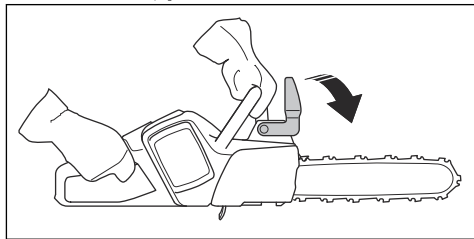
5. 主電源ソケットからバッテリー充電器を取り外す際は、プラグを引っ張ってください。ケーブルを引っ張らないでください。
6. バッテリー充電器からバッテリーを外します。

注記： 詳細については、バッテリーおよびバッテリー充電器の取扱説明書を参照してください。

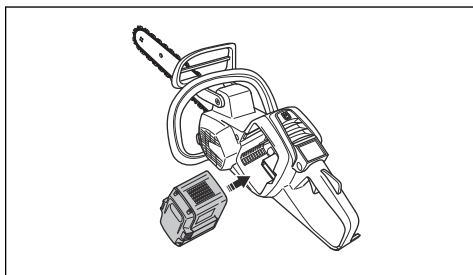
本製品の始動方法

1. パワートリガーとパワートリガーロックを点検してください。メンテナンス 23 ページを参照してください。

2. フロントハンドガードを前方に押し、チェーンブレイキをはめます。



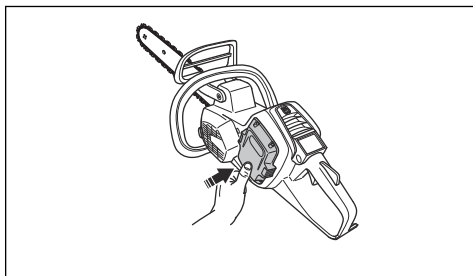
3. バッテリーをバッテリーホルダーに取り付けます。



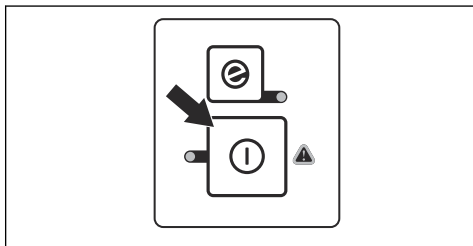
4. カチッと音がするまでバッテリーの下部を押します。



注意： バッテリーがバッテリーホルダーに簡単にはまらない場合は、バッテリーがバッテリーホルダーに正しく取り付けられていません。



5. 緑色の LED ランプが点灯するまで、スタート/ストップボタンを押し続けます。

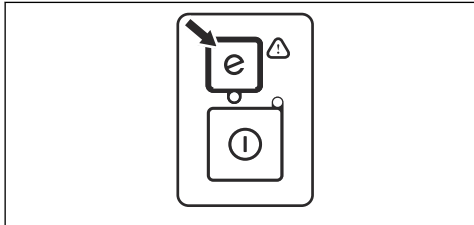


SavE 機能を有効にするには

本製品には電力節約機能 (SavE) が装備されています。SavE 機能を使用するとチェーン速度が遅くなり、バッテリーの稼働時間が長くなります。

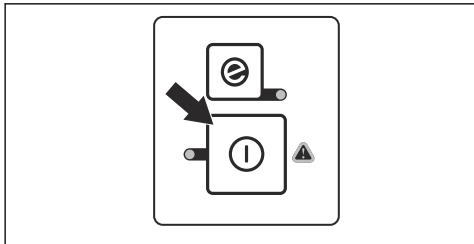
注記： SavE 機能によって製品の切断力が低下することはありません。

1. キーパッドで SavE ボタンを押します。
2. 緑色の LED が点灯していることを確認します。
3. もう一度 SavE ボタンを押すと、SavE 機能が停止します。緑色の LED が消灯します。

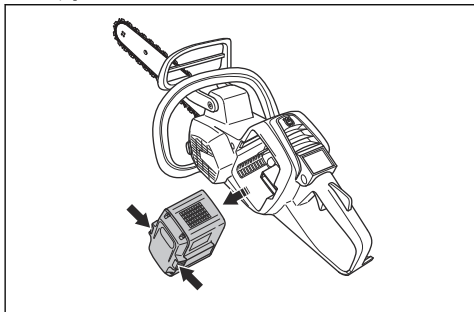


本製品を停止するには

1. 緑色の LED が消灯するまでキーパッドのスタート / ストップボタンを押し続けます。



2. バッテリーを引き出し、バッテリー解除ボタンを押してバッテリーホルダーからバッテリーを取り外します。



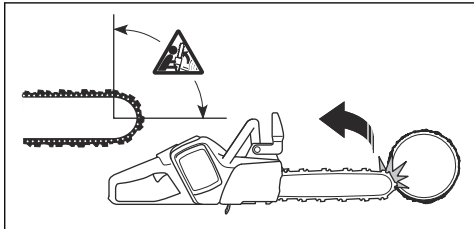
警告： 製品を使用しない、または目の届かない場所に置くときは、バッテリーを取り外し、誤って始動しないようにします。

キックバックとは



警告： ソーチェンの回転中にキックバックが発生すると、重傷や死亡事故の原因となるおそれがあります。キックバックの原因を理解し、正しい操作技術でキックバックを防止することが重要です。正しい知識を身につけることで、危険を減らすことができます。

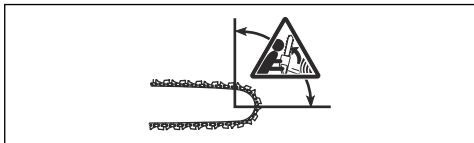
ソーチェンが回転しているときにキックバックゾーンが他の物体に接触すると、キックバックが発生します。キックバックは突然強い力で発生し、本体、ガイドバー、ソーチェンが作業者に向かって跳ね返ってきます。



キックバックは、常にガイドバーの切削面で起こります。通常、本体、ガイドバー、ソーチェンは作業者に向かってきますが、別の方向に向かう場合もあります。この場合、キックバックが起こったときにどのように製品を使用しているかで動きの方向が変わります。



キックバックは、ガイドバーのキックバックゾーンに物体が接触したときにのみ起こります。キックバックゾーンに何も接触しないようにしてください。



ガイドバーの先端の半径が小さいほど、キックバックが起こる危険が低くなります。

ソーチェンは多数のリンクで構成されています。リンクの種類には標準タイプと低キックバックのものが 있습니다。キックバックの発生を抑える適切なカッティング装置を使用することで、キックバックの影響を低減することができます。



警告：キックバック中に発生する危険な状況を完全に防止できるソーチェンはありません。

キックバックに関するよくある質問

- キックバックが起きた場合、必ず手動でチェンブレイキをかけることができますか？

いいえ。フロントハンドガードを前方に押すために、ある程度の力を使う必要があります。必要な力を加えられない場合、チェンブレイキがかからない場合があります。フロントハンドガードに軽く触れるだけでは、チェンブレイキがかからない場合があります。作業中は両手でしっかりと製品のハンドルを持ってください。キックバックが発生した場合、フロントハンドルから手を放さないでください。手を離れた場合、チェンブレイキがかからないか、製品が大きく動いた後のみチェンブレイキがかかります。この状況では、チェンブレイキでソーチェンを止めるのが間に合わない可能性があります。また、手がフロントハンドガードに触れず、チェンブレイキをかけられない位置もあります。たとえば、伐倒ポジションなどです。

- キックバックが起きた場合、必ずイナーシャ機構でチェンブレイキをかけることができますか？

いいえ。まずはチェンブレイキが正しく機能する必要があります。チェンブレイキの点検方法の詳細については、「製品の安全装置のメンテナンスと点検 23 ページ」を参照してください。本製品を使用する前に、毎回実行することをお勧めします。次に、チェンブレイキがかかるには、キックバックが強い力で起こる必要があります。チェンブレイキの感度が高すぎると、常にチェンブレイキがかかることとなります。

- キックバック発生時にチェンブレイキをかけると必ず使用者の怪我を防ぐことができますか？

いいえ。怪我を防ぐためには、チェンブレイキを適切に使用する必要があります。キックバック発生時には、チェンブレイキも使用してソーチェンを停止させる必要があります。作業者の身体がガイドバーに近い場合、チェンブレイキによるソーチェンの停止が間に合わず、作業者にソーチェンが当たる可能性があります。



警告：使用者が正しい操作方法で使用方法の場合にのみ、キックバックを防ぐことができます。

鋸断作業にあたって



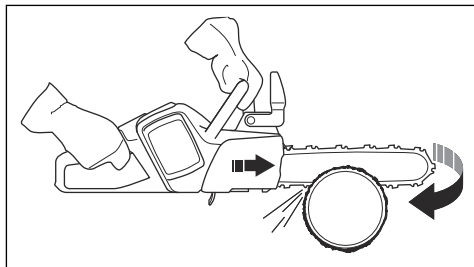
警告：切断するときは、最大出力で使用し、切断後は速度をアイドリングに落とします。



注意：モーターに負荷をかけずに最大出力で長時間作動させると、モーターが損傷する場合があります。例えば、切断時にソーチェンに抵抗がかからない無負荷の状態でもターを長時間作動させる場合です。

本製品を使用して、2つの異なる位置から木を切断することができます。

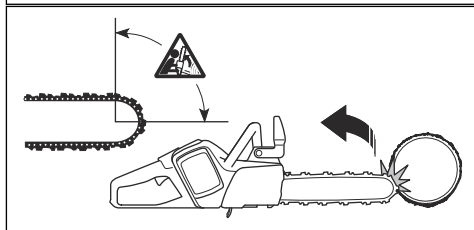
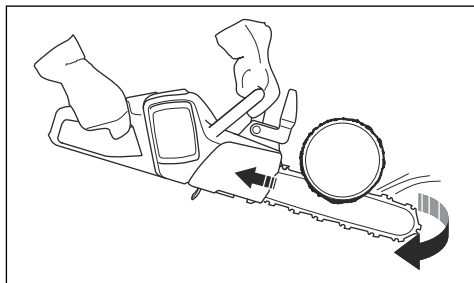
- 引き切りで切断するには、ガイドバーの下部で切断します。切断するとき、ソーチェンが木を引き寄せます。この位置で、本製品とキックバックゾーンの位置をうまく制御できます。



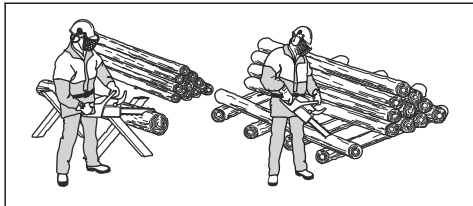
- 押し切りで切断するには、ガイドバーの上部で切断します。ソーチェンが作業者の方向に製品を押し出します。



警告：押し切りで切断する場合は、注意してください。ソーチェンが幹に引っかかると、製品が作業者に向かって押し出されます。この力を抑える必要があります。そうしないと、ガイドバーのキックバックゾーンが木に接触する危険があります。これにより、キックバックが起きます。



1. 幹はソーホースカランナーに置いてください。



警告： 幹を重ねて切断しようとししないでください。キックバックの危険が高まり、重傷または死亡事故の原因となるおそれがあります。

2. 幹は1つずつ切断してください。
3. 伐採エリアから作業済み木片を撤去してください。

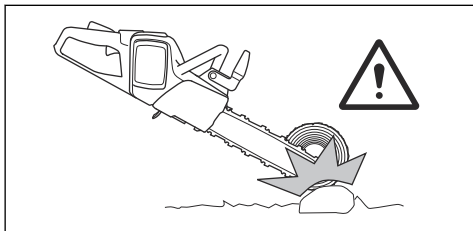


警告： 伐採エリアに作業済み木片を残しておくと、キックバックの危険が高まります。また、作業時にバランスを失う危険もあります。

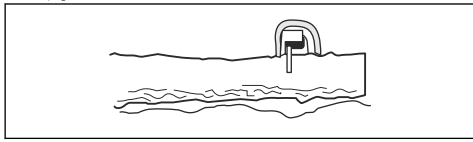
地面で幹を切断するには



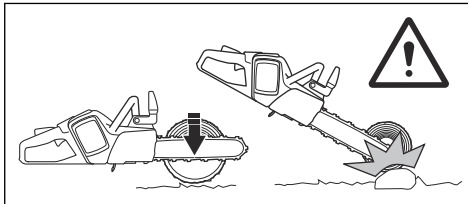
警告： 以下の手順に従って、ソーチェンが地面やその他の物に接触しないようにします。



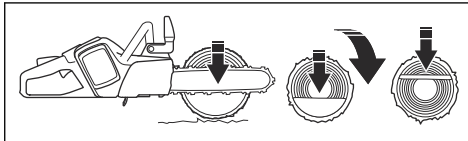
注記： 地面で幹を切断する場合は、ソーチェンが引っかかったり、その他の物が破壊されたりする危険が低くなります。



1. 幹は引き切りで切断します。切断が完了したときにソーチェンを地面に接触させないでください。最大出力を維持しながら、予期せぬ事態に備えてください。



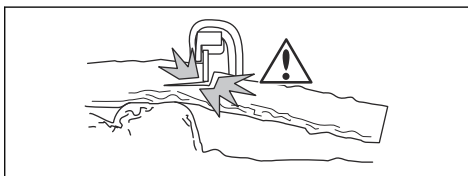
2. 事故を回避するには、幹の約2/3を切断してから停止します。幹を回して、反対側から完全に切断します。



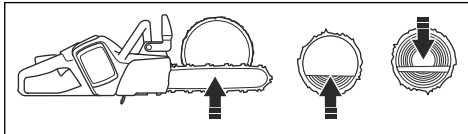
幹の一方を支持して幹を切断するには



警告： 以下の手順に従って、完全に切断する前に幹が折れないようにします。



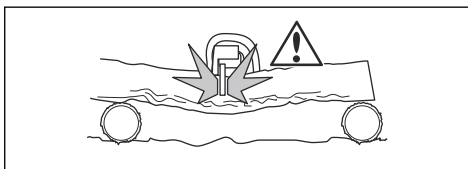
1. 幹を押し切りで約1/3切断します。
2. 2つの切り口が当たるまで引き切りで幹を切断します。



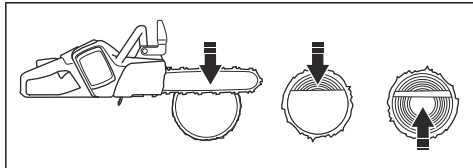
幹の両端を支持して幹を切断するには



警告： 以下の手順に従って、ソーチェンが幹に引っかからないようにします。



1. 幹を引き切りで約 1/3 切断します。
2. 2 つの切り口が当たるまで押し切りで幹の残りの部分を切断します。

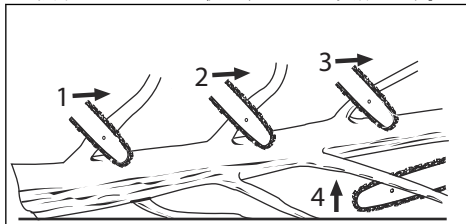


警告：ソーチェンが幹に食い込んだ場合は、モーターを停止してください。製品を力任せに引き抜こうとしないでください。製品が突然引き抜かれて負傷する危険があります。てこなどで切り口を広げ、チェンソーを抜き取ります。

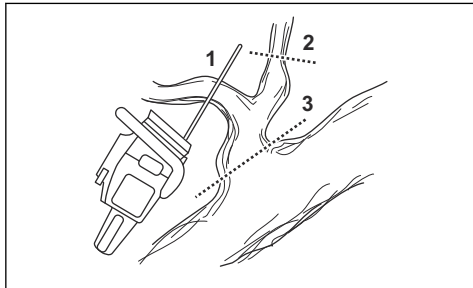
枝払いをするには

注記：太い枝の枝払いは、切断と同じ手順で行います。

1. 太くて低い位置にある枝を残して、地面で木が安定するようにします。
2. 太い枝を 1 本ずつ切断します。
3. 張力がかかっている枝を下から上に切断します。



4. 必要に応じて、小分けにしながら枝を切断します。



警告：小枝を払うときは注意してください。藪を切ること（多数の小枝を同時に切ること）は避けてください。小さく軽い枝がソーチェンにからみ、作業者に向かって飛ぶ場合があります。製品が制御できなくなり、重傷を負うおそれがあります。

5. 幹の左側に立って作業をします。製品をできるだけ身体に近づけて持ち、コントロールを失わないようにします。可能であれば、幹に製品の重さをかけます。



警告：キックバックのほとんどは枝払いの際に発生します。幹やその他の太い枝や物体に、ガイドバーの先端やキックバックゾーンが接触しないようにしてください。張力がかかっている太い枝に注意してください。作業者に向かって飛び、重傷事故を起こすおそれがあります。

6. 身体と製品の間に幹がくるように、幹に沿って動きながら作業を進めます。

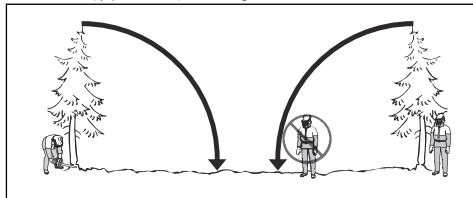
伐倒作業にあたって



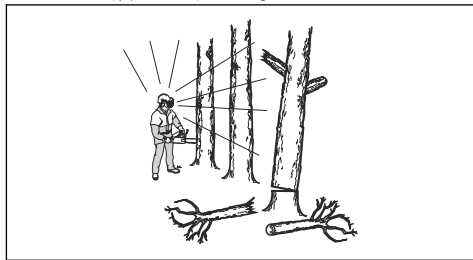
警告：豊富な伐倒経験が必要です。経験のない作業者は、伐倒を行わないでください。

安全な距離を保つには

1. 付近にいる人が、木の高さより 2.5 倍以上離れていることを確認してください。



2. 伐倒前と伐倒中に、この「危険領域」内に誰もいないことを確認してください。



伐倒方向を計算するには

1. 伐倒させる必要がある方向を調べます。枝払いや幹切りが簡単に行えるように、伐倒の方向を決めます。また、足場が安定し、安全に移動できる必要があります。



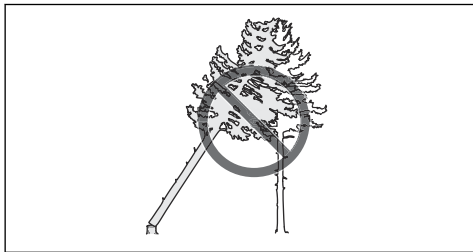
警告：他の方向に倒すことができない、または危険ではない場合は、自然に倒れる方向に伐倒します。

2. 木が自然に倒れる方向を調べます。例えば、木の傾きや曲がり方、風の方向、枝の位置や雪の重さなどです。
3. 周辺に他の木、電線、道路、建物などの障害物がないか調べてください。
4. 幹に破損や腐敗がないか調べてください。



警告：幹が腐敗していると完全に切断する前に木が倒れる危険があります。

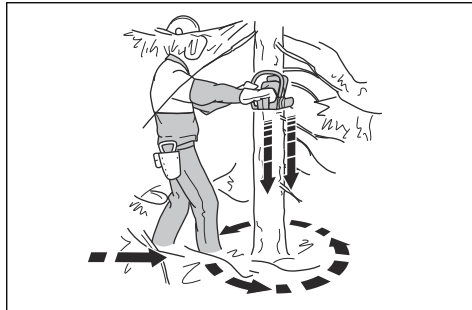
5. 伐倒中に折れて頭上に落ちてきそうな割れ枝や枯れ枝がないかどうか確認してください。
6. 木が別の木に向かって倒れないようにしてください。他の木に倒れかかった木を外す作業は危険で、事故の確率も高くなります。引っかかった木を外すには22ページを参照してください。



警告：伐倒作業では、切断作業の完了後すぐにイヤマフを外してください。音や警告信号が聞こえるようにしてください。

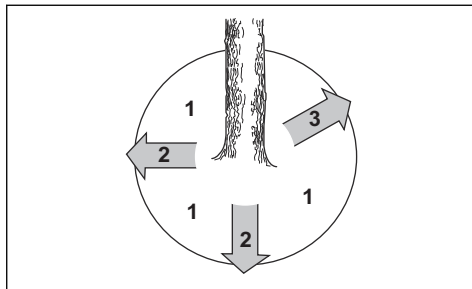
枝払いして退避路を確保するには

1. 枝払いして肩から下の高さにある枝を取り除きます。上から下に向かって作業します。自分と本製品の間に木があるようにしてください。



2. 伐倒作業する場所で、木からゴミ、石、はがれた樹皮、くぎ、ステーブル、ワイヤーなどを取り除きます。木の周辺の下草を払います。
3. 作業場所に石、枝、穴などの障害物がないか確認してください。木が倒れ始めたときに退避路に障害物がないようにしてください。退避路は、伐倒方向から約135度の角度になるように取る必要があります。

1. 危険領域
2. 退避路
3. 伐倒方向



伐倒するには

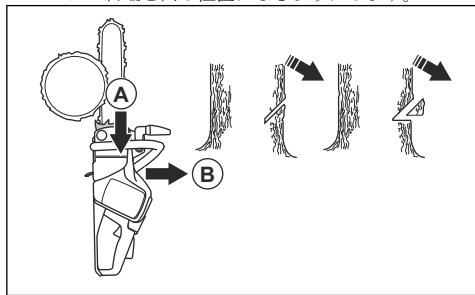
木を倒すには3つの切り口を利用します。受け口（上切り口と下切り口）と、追い口です。切り口を正確に作ることで、木の倒れる方向を非常に正確に制御することができます。



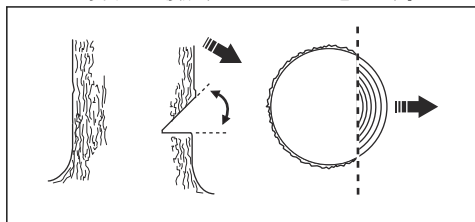
警告：特殊な訓練を受けていないかぎり、製品のバーの長さより直径の大きな木を伐倒しないでください。ガイドバーのキックバックゾーンが木に接触する危険が高まります。

受け口を作るには

- 受け口を作ります。受け口は木の直径の $1/4$ に当たる深さになるようにします。上切り口と下切り口の角度は 45° になるようにします。
 - 最初に上切り口を作ります。製品の伐倒方向マーク (A) と木の伐倒方向 (B) を合わせます。製品の後ろに立ち、木が右側に来るようにします。引き切りで切断します。
 - 下切り口を作ります。下切り口の終端が上切り口の終端と同じ位置になるようにします。



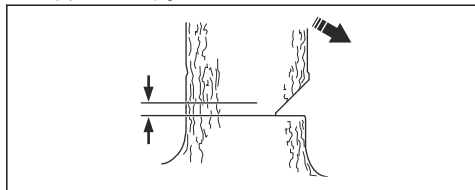
- 受け口線が完全に水平で、伐倒方向に対して直角 (90°) であることを確認してください。受け口線は、2つの受け口が接触するポイントを通ります。



追い口を作るには

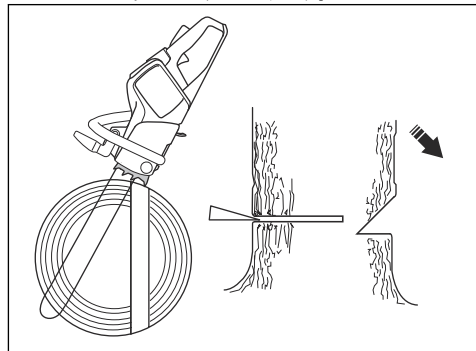
注記： 追い口は、受け口から見て木の反対側に作ります。

- 受け口の下切り口から約 $3 \sim 5$ cm ($1.5 \sim 2$ インチ) 上に追い口を作ります。切り口は完全に水平にする必要があります。

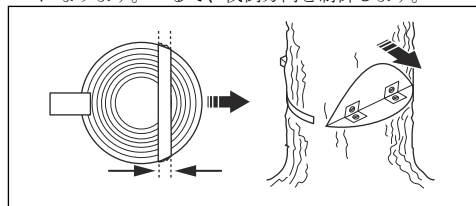


- スパイクバンパーがある場合、つるの後ろに置きます。
- 引き切りで切断し、最大出力でソーチェン／ガイドバーをゆっくりと木に当てます。木が予測していない方向に倒れないようにしてください。

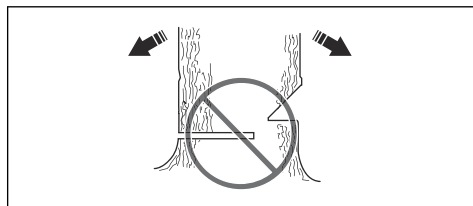
- 切り口が正確な深さに達したら、クサビとブレイキングバーを切り口に差し込みます。



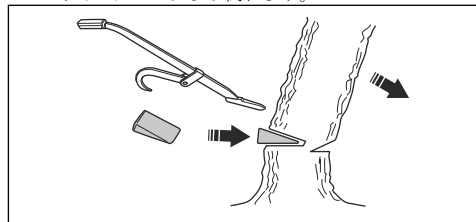
- 受け口線を平行にして追い口を完成させます。追い口と受け口の距離が幹の直径の $1/10$ 以上あるようにしてください。幹の切断されていない部分がつるになります。つるで、伐倒方向を制御します。



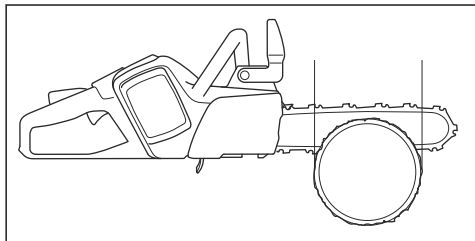
警告： つるがない、またはつるが薄すぎる場合、伐倒方向は制御できません。受け口と追い口が正しく作られていない場合も、伐倒方向は制御できません。



- この時点で、木はその力により、またはクサビかブレイキングバーにより倒れます。



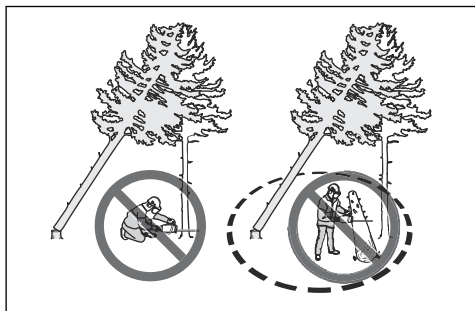
注記：木の直径より長いガイドバーを使用します。これにより、追い口と受け口を1回の切り込みで作ることができます。お持ちの製品に推奨されるガイドバーの長さについては、「アクセサリ 34 ページ」を参照してください。



引っかけた木を外すには

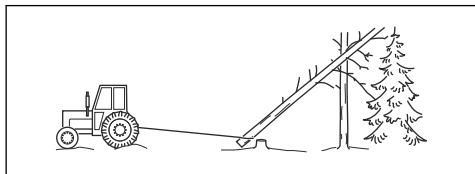


警告：他の木に倒れかかった木を外す作業は非常に危険で、事故の確率も高くなります。危険ゾーンに入らないようにして、他の木に倒れかかった木を倒そうとしないでください。

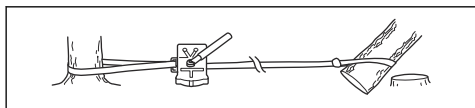


次のいずれかのウィンチを使用すると最も安全です。

- ウインチ付きトラクター

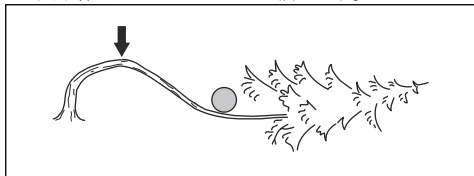


- 携帯ウインチ



張力のある木や枝の鋸断

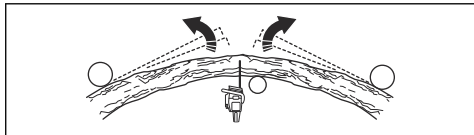
1. 木や枝にどのように張力がかかっているかを調べます。
2. 張力最大点がどこにあるかを調べます。



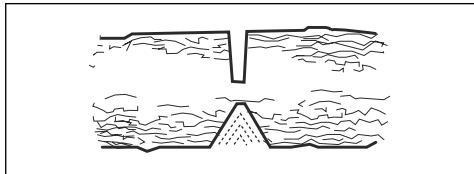
3. 張力を解放する最も安全な手順を調べます。

注記：本製品ではなく、ウィンチを使用するほうが安全な場合があります。

4. 張力が解放されたときに、木や枝が当たらない位置に立ちます。



5. 張力を弱めるには、十分な深さの切り口を複数作する必要があります。張力最大点の真上または近くを切断します。張力最大点で木または枝を折ります。

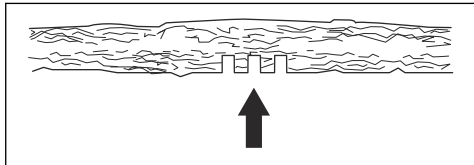


警告：張力のある木や枝は、絶対に1度で切り倒そうとしないでください。

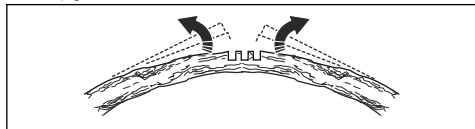


警告：張力のある木を切断するときは十分注意してください。木を切断する前後に木がすばやく動く危険があります。不適切な位置にいる場合、または誤った場所を切断した場合、重傷を負うおそれがあります。

6. 木や枝を切断しなくてはならない場合は、約 2.5 cm 間隔で約 5 cm の深さの切れ込みを 2、3 箇所入れます。



7. 木や枝の屈曲や張力が解放されるまで、木を切断します。



8. 張力が解放されてから、屈曲の反対側から木／枝を切断します。

メンテナンス

はじめに



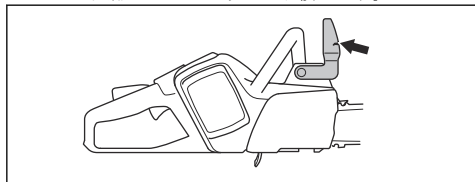
警告：メンテナンスを行う前に、安全に関する章をお読みにになり、内容を理解してください。

製品の安全装置のメンテナンスと点検

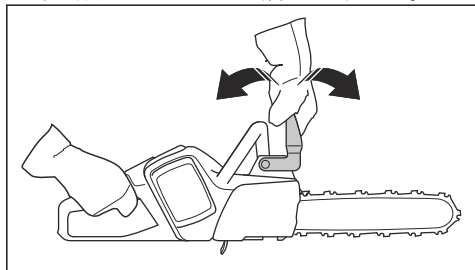
フロントハンドガードを点検するには

定期的にフロントハンドガードとインナーシャ式ブレーキを点検します。

1. フロントハンドガードに損傷がないか、また、ヒビなどの欠陥がないかどうかを点検します。



2. フロントハンドガードが自由に動き、製品に安全に取り付けられていることを確認してください。



3. モーターのスイッチを切って、切り株または安定した場所に製品を置きます。

4. リヤハンドルを持って、フロントハンドルを放します。製品を切り株に向けて落とします。



5. ガイドバーが切り株に当たると、チェンブレイキがかかることを確認してください。

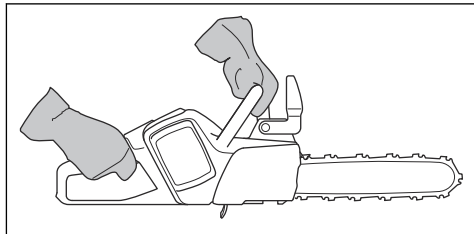
ブレーキトリガーを点検するには

1. 製品を安定した地面に置き、始動します。本製品の始動方法 15 ページを参照してください。

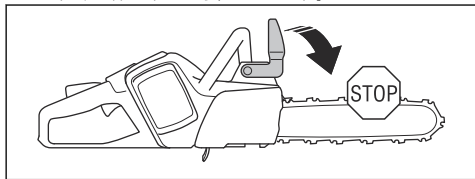


警告：ソーチェンが地面やその他の物に触れないよう、注意してください。

2. 親指とその他の指でハンドルを包むように持ち、製品をしっかりと持ちます。



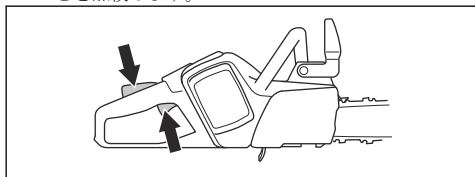
3. 最大出力にして、左手首をフロンハンドガードに向けて傾けてチェンブレイキをかけます。ソーチェンがすぐに停止する必要があります。



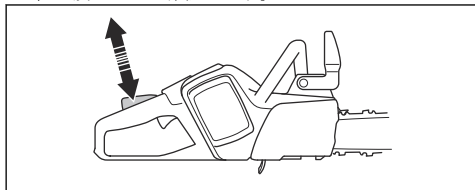
警告：このとき、フロントハンドルから手を放さないでください。

パワートリガーロックを点検するには

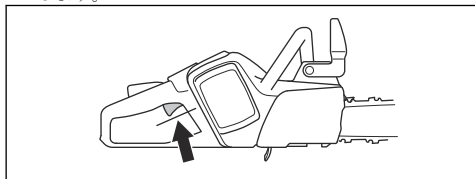
1. パワートリガーとパワートリガーロックがスムーズに動き、リターンスプリングが正しく機能していることを点検します。



2. パワートリガーロックを押下げて、放すと元の位置に戻ることを確認します。



3. パワートリガーロックを解放したとき、パワートリガーがアイドリングの位置になっていることを確認します。

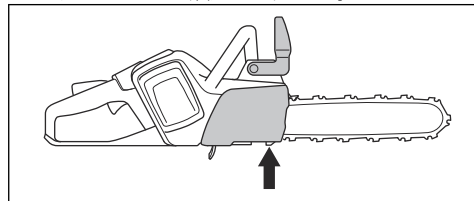


4. 本製品を始動し、最大出力にします。
5. パワートリガーを解放し、ソーチェンの回転が停止して静止状態が保たれていることを確認します。パワートリガーがアイドリング位置にあるにもかかわらずソーチェンが回転する場合は、お近くのサービス代理店にご相談ください。

チェンキャッチャーを点検するには

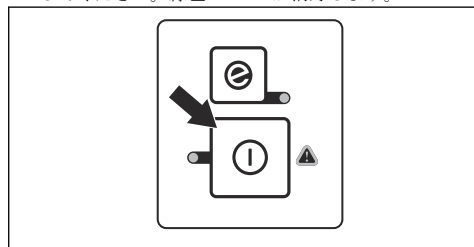
1. チェンキャッチャーが損傷していないことを確認してください。

2. チェンキャッチャーが安定し、製品本体に取り付けられていることを確認してください。



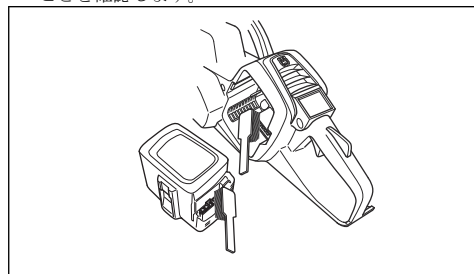
キーパッドを点検するには

1. 本製品を始動します。参照：本製品の始動方法 15 ページ
2. もう一度スタート/ストップボタンを押します。
3. ボタンを長押しすると、製品が停止することを確認してください。緑色の LED が消灯します。

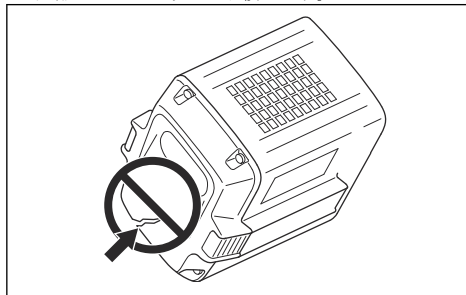


バッテリーとバッテリー収納部を点検するには

1. バッテリーとバッテリー収納部を柔らかいブラシで掃除します。
2. 冷却スロットとバッテリーコネクタがきれいであることを確認します。

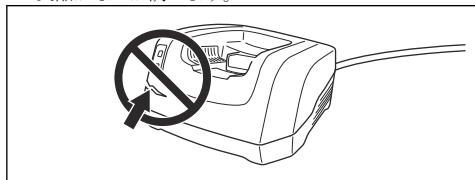


3. バッテリーに損傷がないか、また、ヒビ割れなどの欠陥がないかどうかを点検します。



バッテリー充電器を点検するには

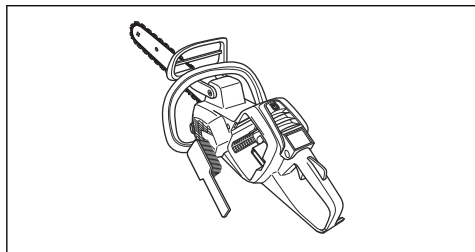
1. バッテリー充電器および電源ケーブルが破損していないことを確認してください。ヒビ割れやその他の欠陥がないか調べます。



冷却システムを清掃するには

本製品には冷却システムが搭載されており、本体の温度を可能なかぎり低く保ちます。

冷却システムは、製品の左側にある空気取り込み口とモーターのファンで構成されます。



1. 必要に応じて、ブラシを使用して、週に 1 回以上冷却システムを清掃してください。
2. 冷却システムに汚れや詰まりがないことを確認してください。



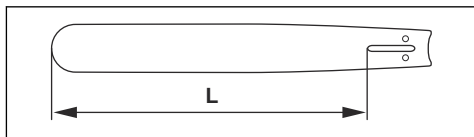
注意：冷却システムに汚れや詰まりがあると、製品が過熱する原因になります。過熱によりピストンやシリンダが損傷することがあります。

ソーチェンを目立てするには

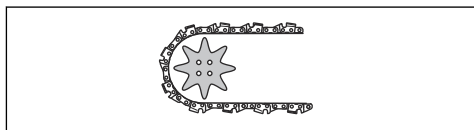
ガイドバーとソーチェンの詳細

摩耗または損傷があるガイドバーやソーチェンは、Husqvarna 推奨のガイドバーとソーチェンの組み合わせで交換してください。カッティング装置の安全機能を正しく作動させるには、製品の組み合わせが重要です。推奨される交換用ガイドバーとチェンの組み合わせリストについては、「アクセサリ 34 ページ」を参照してください。

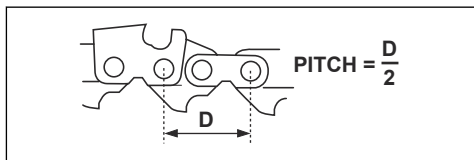
- 長さ (インチ/cm)。



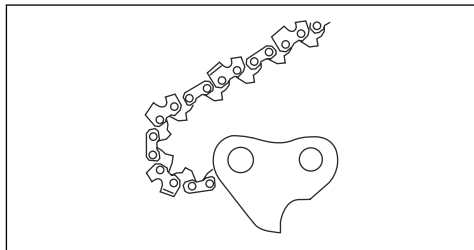
- ノーズスプロケットの歯の数 (T)。



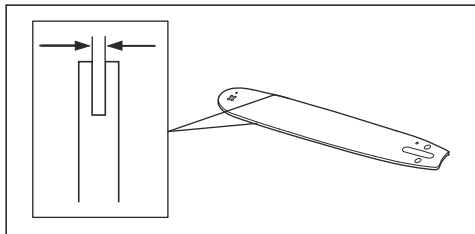
- チェンのピッチ (インチ)。ソーチェンのドライブリンク同士の間隔と、ノーズスプロケットの歯とドライブスプロケット間の間隔とが一致するようにしてください。



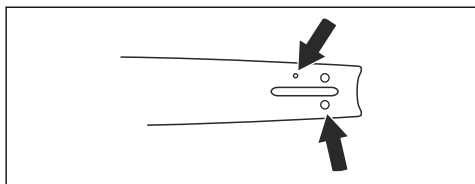
- ドライブリンクの数。ドライブリンクの数は、ガイドバーの長さ、チェンピッチ、ノーズスプロケットの歯の数によって決まります。



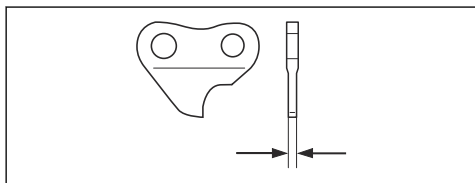
- ガイドバーのレール溝幅（インチ／mm）。ガイドバー溝の幅は、チェーンのドライブリンクの幅と一致するようにしてください。



- チェーンオイル孔とチェーンテンショナ孔。ガイドバーは製品と一致する必要があります。



- ドライブリンクの幅（mm／インチ）。

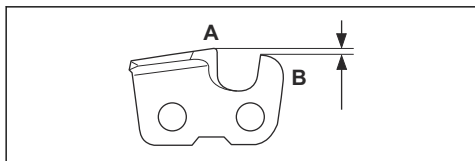


刃の目立て方法に関する一般情報

刃先が丸くなったソーチェーンは使用しないでください。ソーチェーンの刃先が丸くなると、より大きな力をかけてガイドバーを木に押し込む必要があります。ソーチェーンの刃先が非常に丸くなると、木片ではなく切りくずが出ます。

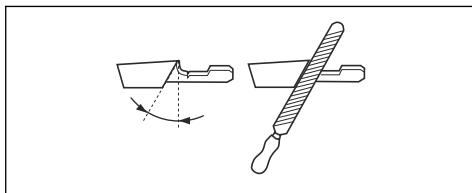
鋭いソーチェーンを使用すると、抵抗なく木に切り込むことができ、長く厚い切りくずが出ます。

刃（A）とデプスゲージ（B）は、ソーチェーンの木を切る部分（カッター）になります。刃とデプスゲージの高さの差が切断深度（デプスゲージ設定）になります。

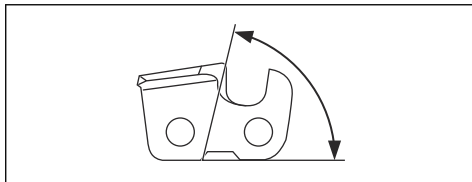


刃を目立てするときは、次のことを考慮してください。

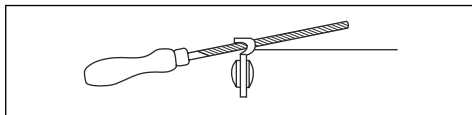
- 目立て角度。



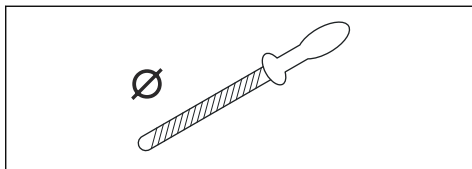
- 切削角度。



- ヤスリの位置。



- 丸ヤスリの直径。



ソーチェーンの目立てを正しく行うには、適切な装置を使用する必要があります。Husqvarna 製目立てゲージを使用してください。最高の切削性能を得ることができ、キックバックの危険も最小限に抑えられます。

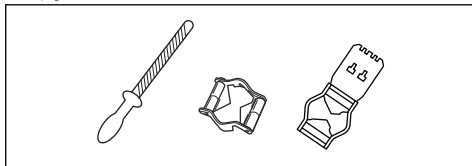


警告： 目立て手順に従わないと、キックバックの危険が増加します。

注記： ソーチェーンの目立ての詳細については、「目立て装置と目立て角度 34 ページ」を参照してください。

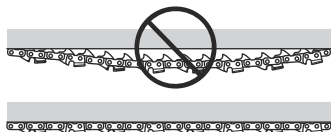
刃を目立てするには

- 丸ヤスリと目立てゲージを使用して刃を目立てします。

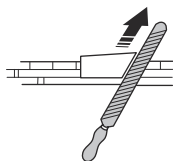


注記：お使いのソーチェンに Husqvarna が推奨するヤスリとゲージについては、「目立て装置と目立て角度 34 ページ」を参照してください。

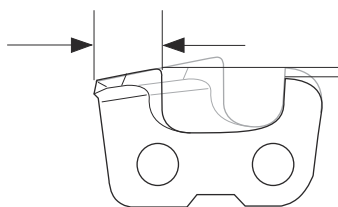
2. ソーチェンに適切な張りがあることを確認します。適切な張りがないソーチェンは左右に動きます。このような場合、適切に目立てすることができません。詳しくは、「ソーチェンを張るには 28 ページ」を参照してください。



3. ヤスリを刃の内側から外側に動かします。引くときは力を抜いてください。



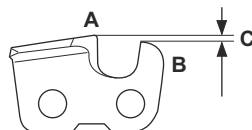
4. 最初に、すべての刃の片側にヤスリをかけます。
5. 本製品をひっくり返して、反対側の刃にヤスリをかけます。
6. ヤスリをかけるときは、すべての刃が同じ長さになるようにしてください。
7. 刃が 4 mm (0.16 インチ) まで減ると、ソーチェンが摩耗した状態です。ソーチェンを交換してください。



デブスゲージ設定の調整方法に関する一般情報

刃 (A) の目立てを行うと、デブスゲージ設定 (C) が低くなります。切断性能を最良の状態に保つには、推奨されるデブスゲージ設定に達するまで、デブスゲージ (B) に合わせてヤスリをかける必要があります。お使いのソ

ーチェンに適した正しいデブスゲージ設定について詳しくは、「アクセサリ 34 ページ」を参照してください。



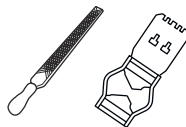
警告：デブスゲージの設定が高すぎると、キックバック発生の危険性が高まります。

デブスゲージの設定を調整するには

デブスゲージ設定の調整、または刃の見立てを行う前に、「刃を目立てするには 26 ページ」で手順を参照してください。デブスゲージ設定の調整は、刃の目立てを 3 回行うごとに 1 回の割合で行うことを推奨します。

注記：これは、刃の長さが短くなりすぎていない場合に限ります。

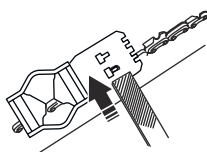
デブスゲージの設定を正しく行い、デブスゲージの角度を調整するために、デブスゲージツールの使用を推奨します。



1. 平ヤスリとデブスゲージツールを使用して、デブスゲージ設定を調整します。必ず Husqvarna 製デブスゲージツールを使用して、デブスゲージの設定を正しく行い、デブスゲージの角度を調整してください。
2. デブスゲージツールをソーチェンに置きます。

注記：デブスゲージツールの使用方法については、ツールのパッケージを参照してください。

3. 平ヤスリで、デブスゲージツールから突き出たデブスゲージ部分にヤスリをかけます。



注記：デブスゲージツールに沿ってヤスリを引くときに抵抗を感じなくなったら、デブスゲージの設定は正しく調整されています。

ソーチェンを張るには



警告：適切な張りがないソーチェンはガイドバーから外れることがあり、重傷または死亡事故の原因となるおそれがあります。

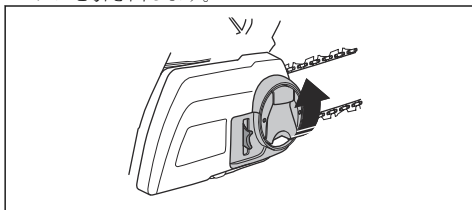
ソーチェンは使用を重ねると次第に伸びていきます。ソーチェンは定期的に調整してください。

チェンオイルを充填するたびにソーチェンの張り具合を点検してください。

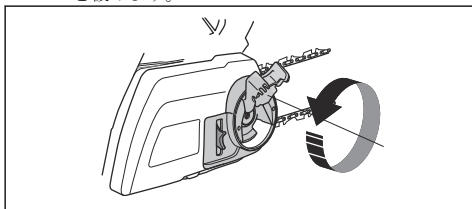
注記：真新しいソーチェンは、慣らし運転が必要です。慣らし運転期間中は、頻繁に点検を行ってください。

ソーチェンを張るには (436 Li)

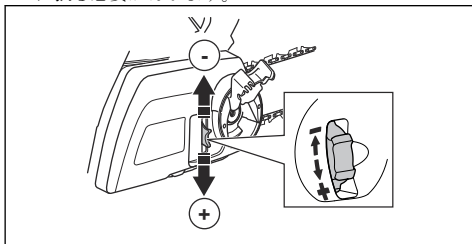
1. ノブを引き出します。



2. ノブを反時計方向に回してドライブスプロケットカバーを緩めます。

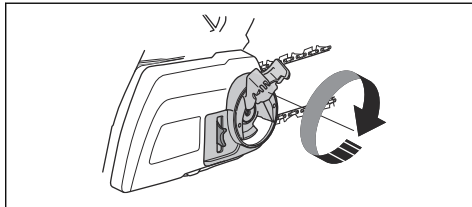


3. チェンテンションホイールを回して、ソーチェンの張りを調整します。ソーチェンはガイドバーに適切に張る必要があります。

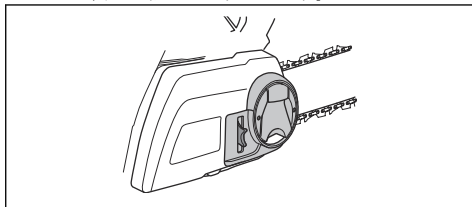


注記：張りを強くするにはホイールを下 (+) に回し、張りを弱めるには上 (-) に回します。ソーチェンが適切に張られている場合は、手で簡単に回すことができ、ガイドバーにはしっかりとまわっています。

4. ノブを時計方向に回して、パーノブを締めます。



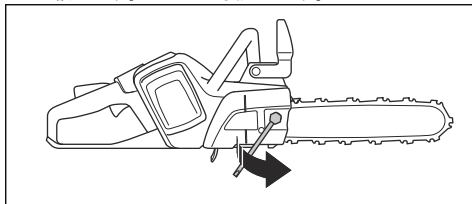
5. ノブを閉じて張りをロックします。



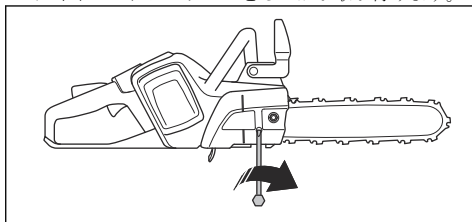
6. 慣らし運転が終わるまでソーチェンの張りは頻繁に点検してください。
7. 良好な切削性能と長寿命のため、チェンの張りは定期的に点検してください。

ソーチェンを張るには (536 LiXP)

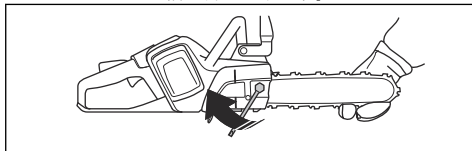
1. ドライブスプロケットカバーを保持するバーナットを緩めます。レンチを使用します。



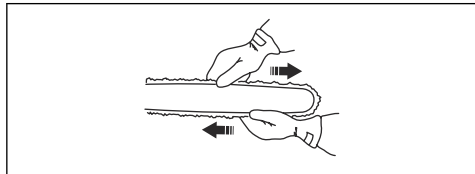
2. ガイドバーの前を持ち上げて、チェン張りネジを回します。レンチを使用します。
3. ガイドバーにソーチェンをしっかり取り付けます。



4. レンチを使用してバーナットを締め付けます。同時にガイドバーの前を持ち上げます。



5. ソーチェンを手で自由に回せること、ガイドバーの下側にたるみがないことを確認してください。



6. 慣らし運転が終わるまでソーチェンの張りは頻繁に点検してください。
7. 良好な切削性能と長寿命のため、チェンの張りは定期的に点検してください。

注記： チェン張りネジの位置はモデルごとに異なります。各モデルのチェン張りネジの位置については、「製品の概要 2 ページ」を参照してください。

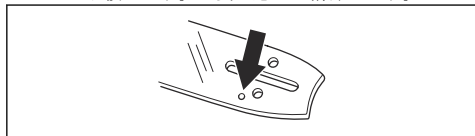
ソーチェンの潤滑状態を点検するには

- 3 回目のバッテリー充電時にソーチェンの潤滑状態を点検します。

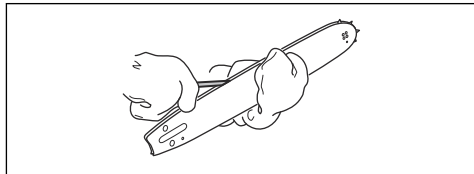
1. 本製品を始動し、 $\frac{3}{4}$ の出力で運転します。色が薄い場所の上、約 20 cm (8 インチ) の高さでガイドバーを保持します。
2. ソーチェンの潤滑状態が良好な場合、約 1 分後に透明なオイルの線が確認できます。



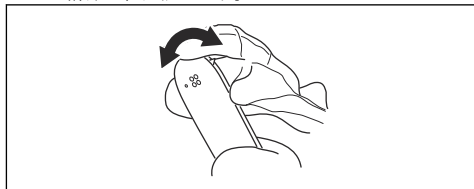
3. ソーチェンの潤滑状態が不良な場合、次のことを点検してください。
- a) ガイドバーのオイル孔が詰まっていないかどうか点検します。必要に応じて清掃します。



- b) ガイドバーの端にある溝が汚れていないかどうか点検します。必要に応じて清掃します。



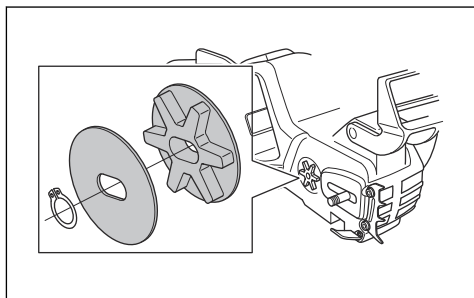
- c) ガイドバーのノーズスプロケットがスムーズに回転するか、またスプロケットのオイル孔が詰まっていないかどうか点検します。必要に応じて清掃し、注油します。



4. 上記の手順を実行してもソーチェンの潤滑状態が改善しない場合は、サービス代理店にお問い合わせください。

チェンドライブスプロケット

ドライブシステムにはドライブスプロケットが装備されています。



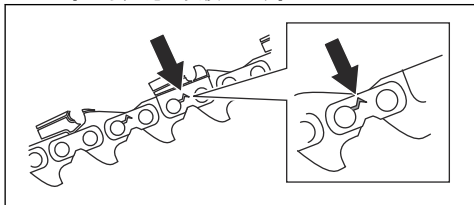
チェンドライブスプロケットで次のメンテナンスを実施します。

- ドライブスプロケットの摩耗度を定期的に点検します。摩耗が激しい場合はチェンドライブスプロケットを交換します。
- ソーチェンを交換したら、必ずドライブスプロケットも交換してください。

カッティング装置の摩耗を点検するには

ソーチェンは毎日点検してください。

1. リベットやリンクにヒビ割れがないか確認してください。必要に応じ交換します。

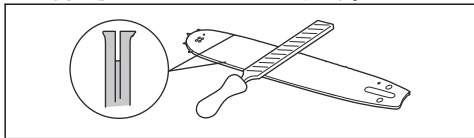


2. ソーチェンが固まっていないか点検してください。必要に応じ交換します。
3. リベットやリンクが摩耗していないかどうか、ソーチェンを新しいソーチェンと比べます。刃の長さが 4 mm (0.16 インチ) 以下の場合は、ソーチェンを交換します。

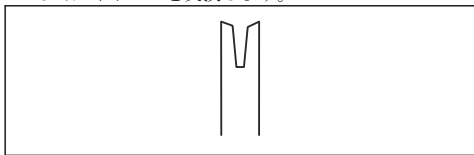
ガイドバーを点検するには

ガイドバーは定期的に点検してください。

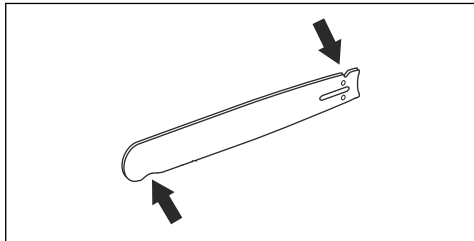
1. ガイドバーの縁にバリがないかどうかを調べます。必要に応じてバリにヤスリをかけます。



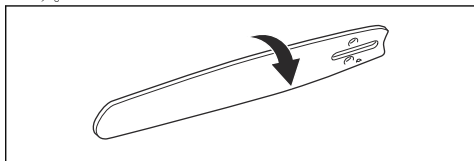
2. ガイドバーの溝に摩耗がないか調べます。必要に応じてガイドバーを交換します。



3. ガイドバー先端が粗くなっているか、摩耗がひどくないか調べます。ガイドバー先端のくぼみは、ソーチェンの張りが不適切であることによるものです。



4. 寿命を延ばすために、ガイドバーは毎日回転させます。



メンテナンススケジュール



警告: メンテナンスを実行する前にバッテリーを外してください。

本製品に必要なメンテナンス手順のリストは以下のとおりです。詳細については、メンテナンス 23 ページを参照してください。

メンテナンス	毎回	毎週	毎月
本製品の外部部品を清掃してください。	X		
パワートリガーとパワートリガーのロック機能が、安全面から見て正しく作動することを確認します。	X		
チェンブレーキを清掃し、チェンブレーキが安全に動作することを確認します。チェンキャッチャーに損傷がないことを確認してください。必要に応じて交換します。	X		
均一に摩耗するように、ガイドバーを回転させます。ガイドバーの潤滑孔が詰まっていることを確認します。ガイドバーのレール溝を清掃します。	X		
カッターとカッターガードにヒビがなく、損傷していないことを確認します。ヒビがある場合や、衝撃を受けている場合は、カッターやカッターガードを交換します。	X		
ガイドバーとソーチェンに十分なオイルが注油されていることを確認します。	X		
ソーチェンを点検します。ヒビ割れがないか調べて、ソーチェンが粗くなっているか、異常に摩耗していないか確認します。必要に応じ交換します。	X		

メンテナンス	毎回	毎週	毎月
ソーチェンを目立てします。ソーチェンの張り状態を点検します。ドライブスプロケットの摩耗を点検し、必要に応じて交換します。	X		
製品の給気口を清掃します。	X		
ネジとナットが確実に締められていることを確認します。	X		
キーパッドが正しく機能し、損傷がないことを点検します。	X		
ヤスリを使用して、ガイドバーの縁からすべてのバリを削り取ります。		X	
バッテリーと本製品の接続を確認してください。バッテリーとバッテリー充電器の接続を確認してください。			X
オイルタンクを空にして洗浄します。			X
製品とバッテリー冷却スロットに圧縮空気を慎重に吹き付けます。			X

トラブルシューティング

トラブルシューティングのスケジュール

表

製品のキーパッドに表示される不具合コード。

LED 表示	想定される障害	対応措置
警告インジケータが点滅。	チェンブレイキがかかっている。	フロントハンドガードを後方へ引いて、チェンブレイキを解放します。
	温度の逸脱。	製品が冷えるまで待ちます。
	過負荷。カッティングアタッチメントが詰まっている。	カッティングアタッチメントが詰まっています。カッティングアタッチメントを解放してください。
	パワートリガーと作動ボタンが同時に押されている。	パワートリガーを放すと、本製品は作動状態になります。
緑色の LED が点滅。	バッテリー電圧が低い。	バッテリーを充電してください。
警告インジケータが点灯。	サービス。	サービス代理店にお問い合わせください。

表

充電中のバッテリーとバッテリー充電器もしくはそのいずれかに関するトラブルシューティングです。

LED 表示	想定される障害	対応措置
警告インジケータが点滅。	バッテリーが消耗しています。	バッテリーを充電してください。
	温度の逸脱。	バッテリーは -10℃ ～ 40℃ の温度環境で使用してください。
	過電圧。	本線の電圧が、本製品の銘板に記載された電圧と一致することを確認してください。 バッテリー充電器からバッテリーを外します。
警告インジケータが点灯。	電池の電位差が大きすぎる（1V）。	サービス代理店にお問い合わせください。

表

LED 表示	想定される障害	対応措置
警告インジケータが点滅。	温度の逸脱。	バッテリーは 5℃ ～ 40℃ の温度環境で使用してください。
警告インジケータが点灯。		サービス代理店にお問い合わせください。

搬送、保管、廃棄

搬送と保管

- 同梱のリチウムイオンバッテリーは、危険物の規制に関する規則に準拠しています。
- 民間の運送業者による商用輸送においては、梱包およびラベル付けに関して所定の要件に従ってください。
- 本製品を発送する前に、危険物に関して特別な訓練を受けた担当者にご相談ください。該当するすべての国内規制に従ってください。
- バッテリーを梱包するときは、露出している端子にテープを貼ってください。バッテリーを固定し、動かないように梱包してください。
- 保管するときや搬送時はバッテリーを外してください。
- バッテリーとバッテリー充電器は、乾燥して湿気や霜がない場所に置いてください。
- 静電気が発生するような場所にはバッテリーを保管しないでください。バッテリーは金属製の箱に保管しないでください。
- バッテリーは 5～25℃（41～77°F）の温度環境に保管し、直射日光から遠ざけてください。
- バッテリー充電器は 5～45℃（41～113°F）の温度環境に保管し、直射日光から遠ざけてください。

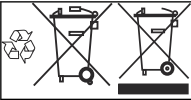
- バッテリーを長期間保管するときは、充電量を 30～50 %にしてください。
- バッテリー充電器は、密閉した乾いた場所に保管してください。
- バッテリーの保管中は、バッテリー充電器から遠ざけてください。子供や許可されていない他の人が機器に触れないようにしてください。施錠できる場所に装置を保管してください。
- 製品を長期間保管する場合は、その前に製品を清掃し、よく点検しておいてください。
- 搬送中および保管中に製品が傷ついたり損傷したりしないように、製品の移動用ガードを使用してください。
- 移送中は製品をしっかりと固定してください。

バッテリー、バッテリー充電器、および製品の廃棄

以下のマークは、本品が家庭ゴミではないことを示しています。電気・電子機器のリサイクル業者にリサイクル

を依頼してください。これは、環境および人への被害を防止するためです。

詳細については、自治体の担当部局、家庭ゴミ収集業者、または販売店にお問い合わせください。



注記： マークは、製品または製品の容器に表示されています。

主要諸元

主要諸元

	436 Li	536 LiXP
モーター		
型式	BLDC（ブラシレス） 36 V	BLDC（ブラシレス） 36 V
特長		
低エネルギーモード	SavE	SavE
潤滑システム		
オイルポンプの型式	全自動	全自動
オイルタンク容量、L/cm ²	0,20/200	0,20/200
重量		
チェンソー（バッテリー、ガイドバー、ソーチェンなし、空のチェンオイルタンク）、kg	2,5	2,4
騒音排出 ¹		
実測音響レベル dB（A）	104	104
保証音響レベル L _{WA} dB（A）	106	106
音量レベル ²		
使用者聴覚での等価騒音レベル、dB（A）	93	93
振動レベル ³		
フロントハンドル、m/s ²	3,5	4,1
リヤハンドル、m/s ²	3,9	4,6
等価振動レベル ⁴		

¹ 環境における騒音の排出は、EC 指令 2000/14/EC に従って、音響パワー(L_{WA})として測定。

² 等価騒音レベルは ISO 22868 に則し、さまざまな作動状態における騒音レベルの時間加重エネルギーとして計算されます。等価騒音レベルの一般的な統計上のばらつきは、1 dB（A）の標準偏差となります。

³ 振動レベルは EN 60745-2-13 に準拠。報告データによれば、等価振動レベルの一般的な統計上のばらつき（標準偏差）は、1 m/s² です。正しい長さのガイドバーと推奨チェンタイプが取り付けられた製品を測定したときの公称振動データです。異なる長さのガイドバーが製品に取り付けられている場合、振動レベルは最大 ± 1.5 m/s² まで変化する可能性があります。

⁴ 等価振動レベルは、燃焼機関駆動のチェンソー用に測定、計算されたものです。これらの数値は、エンジンのタイプとは無関係に振動データを比較できるよう算出されています。

	436 Li	536 LiXP
フロントハンドル、m/s ²	2,2	2,5
リヤハンドル、m/s ²	2,4	2,8
ソーチェン/ガイドバー		
推奨のガイドバーの長さ、インチ/cm	10-14/25-35	10-14/25-35
切断できる長さ、インチ/cm	9-13/23-33	9-13/23-33
ドライブスプロケットの種類、歯数	Spur/6	Spur/6
最大チェン速度/ (SavE)、m/s	15 (12)	20 (15)

アクセサリ

ガイドバーとソーチェンの組み合わせ

Husqvarna436 Li および 536 LiXP での使用が認可されているカッティングアタッチメントは次のとおりです。

ガイドバー				ソーチェン	
長さ、インチ	チェンピッチ、インチ	溝幅、mm	最大ノーズ半径	型式	長さ、ドライブリンク（数）
10	3/8	1.1	7T	Husqvarna H38	40
12			9T		45
14					52

目立て装置と目立て角度

Husqvarna の目立てゲージを使用すると、正しい目立て角度が分かります。ソーチェンの切れ味を回復させるには、常に Husqvarna の目立てゲージを使用することを推奨します。部品番号を次の表に示します。

お使いの製品のソーチェンがわからない場合は、サービス代理店にお問い合わせください。

							
38	11/64 インチ/4,5 mm	90°	30°	0°	0.025 インチ/0.65 mm	5056981-03	5795588-01

認可されたバッテリー

バッテリー	BLi110	BLi150
型式	リチウムイオン	リチウムイオン

バッテリー	BLi110	BLi150
バッテリー容量 (Ah)	3,0	4,2
公称電圧 (V)	36	36
質量、kg/ポンド	1,2/2.6	1,3/2.9

認可されたバッテリー充電器

バッテリー充電器	QC120	QC330
主電源電圧 (V)	220-240	100-240
周波数 (Hz)	50/60	50/60
電力 (W)	125	330

EC 適合性宣言

EC 適合性宣言

Husqvarna AB, SE-561 82 Huskvarna, Sweden, tel: +46-36-146500 は、2016 の製造番号以降（年は銘板の製造番号の前に明記）のコードレスバッテリーチェーンソー Husqvarna 436 Li および 536 LiXP が、評議会指令（COUNCIL'S DIRECTIVES）の規定に適合していることを単独責任のもとで宣言します：

- 2006 年 5 月 17 日付「機械類に関する」 **2006/42/EC**
- 2014 年 2 月 26 日付「電磁波適合性に関する」 **2014/30/EU**
- 2006 年 9 月 6 日「バッテリーと蓄圧器、廃棄バッテリーおよび蓄圧器に関する」 **2006/66/EC**
- 2000 年 5 月 8 日付「環境への騒音排出に関する」 **2000/14/EC**
- 2011 年 6 月 8 日付「電気・電子製品に含まれる特定有害物質の使用制限に関する」 **2011/65/EU**

次の標準規格にも適合しています： EN 60745-2-13, EN 62133, EN 55014-1, EN 55014-2

試験機関： 0366, VDE-Prüf- und Zertifizierungsinstitut GmbH, Merianstraße 28, DE-630 69 Offenbach (Am Main) (ドイツ) が機械指令（2006/42/EC）の条例 12、項目 3b に基づき EC タイプコントロールテストを実施しました。

さらに、SMP, Svensk Maskinprovning AB, Box 7035, SE-750 07, Uppsala (スウェーデン) が、2000 年 5 月 8 日付けの「環境への騒音排出に関する」評議会指令 2000/14/EC の付録 V に適合することも認定しました。承認証番号： EN 60745-2-13, EN 62133, EN 55014-1, EN 55014-2

納品されたチェーンソーは、EC タイプコントロール適格のサンプル品に相当するものです。

騒音排出に関する詳細は、「主要諸元 33 ページ」を参照してください。

Huskvarna, 2017-01-10



開発マネージャー Lars Roos (ハスクバーナ AB 正式代表兼技術文書担当)



www.husqvarna.com

取扱説明書原本

1159977-79



2018-03-01